

CSR報告書 2023



白金、Platinum
触媒から抗がん剤まで、可能性を十分に秘めた期待の星。



金、Gold
装飾用はもちろん、スマートフォン等の中で極細線となって電気をつなぐ大切な役目を果たすマルチタレント。



銀、Silver
銀なくして写真は生まれなかった。鏡にも使われる身近な存在。



パラジウム、Palladium
水素を大量に取り込める性質で高純度水素製造装置として威力を発揮。



ロジウム、Rhodium
塊の状態であれば、どんなものにも溶けない。非常に硬く、表面を硬くするためにめっきに使われる。




イリジウム、Iridium
硬さ、耐食性に優れ、自動車用スーパープラグや、高温に耐えるためLED用サファイヤ基板製造用のるつぼにも使用されている。




ルテニウム、Ruthenium
水から水素を発生させる光触媒として活躍。ハードディスクの記録容量の増加に貢献。



オスミウム、Osmium
バイオテクノロジーや科学捜査に役立っている。

 この冊子は石灰石から生まれた環境に優しい新素材LIMEXを使用しており、1冊で約15Lの水を守ります。

LIMEXの処分方法
<事業者の方へ> 産業廃棄物として処理してください。
<一般消費者の方へ> LIMEXは可燃です。廃棄する場合はお住まいの自治体のルールに従ってください。なお、古紙回収には混ぜないでください。

 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本報告書へのご意見・ご感想をお寄せください。
<https://www.tanaka.co.jp/support/req/csr/index.html>



 **TANAKA**
田中貴金属グループ



企業理念

TANAKAグループは、貴金属のリーディングカンパニーとして、創造性あふれる技術力をもって、お客様の信頼と期待にスピーディーに応え、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会の実現と、美しい地球の未来に貢献します。

行動指針 Code of Conduct

- | | |
|----------|---------------------------|
| 1. あいさつ | Greet Everyone |
| 1. えがお | Show your Smile |
| 1. かんしゃ | Give Thanks |
| 1. あんぜん | Maintain Safety |
| 1. ちょうせん | Challenge Yourself |



LBMA
GOOD DELIVERY
REFEREE



LONDON
PLATINUM &
PALLADIUM
MARKET

田中貴金属工業(株)は、ロンドン地金市場協会(LBMA)より金および銀の公認審査会社※1に任命され、ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット(LPPM)の公認審査会社※2にも任命されており、貴金属の公認溶解業者の溶解技術・分析能力を審査する使命を担っています。

※1 LBMAの公認審査会社は現在5社で、日本では田中貴金属工業(株)が唯一
※2 LPPMの公認審査会社は現在6社で、日本では田中貴金属工業(株)が唯一

編集方針

CSR報告書は、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来の実現に向けて田中貴金属グループが進めているCSR(企業の社会的責任)活動を報告するとともに、今後の取り組みのレベルアップに向けてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的に発行しています。これからも皆様のお声を田中貴金属グループの今後の取り組みに活かしていきたいと考えておりますので、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日

ただし、各テーマに沿った会社の活動の全体像を知っていただくために、一部対象期間外の内容も掲載しています。

対象範囲

TANAKAホールディングス株式会社と連結子会社を含むグループ全体を対象としています。ただし、メタローテクノロジーズインターナショナル株式会社を除きます。なお、対象範囲が異なる場合は当該箇所に明示しています。

発行時期

2023年10月

参考ガイドライン

ISO26000:2010
環境報告ガイドライン2018年版

ウェブサイト

本報告書の閲覧はバックナンバーを含め、下記のウェブサイトをご利用ください。
<https://www.tanaka.co.jp/csr/index.html>

発行責任部署

TANAKAホールディングス株式会社
サステナビリティ・広報本部 CSR推進部
〒100-6422 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング22階
TEL 03-6311-5506(直) FAX 03-6311-5508
ホームページ <https://www.tanaka.co.jp/about/csr>

CONTENTS

02 トップメッセージ

04 TANAKAの事業

06 研究開発

08 品質と信頼

10 地球環境を守る

16 地域・社会への貢献

18 一人ひとりの活躍

22 より安全な職場環境づくり

24 健康経営の実現に向けて

26 誠実で健全な企業であるために

28 CSRパフォーマンス

31 CSRマネジメント

32 CSR報告書アンケート結果

33 第三者保証

国内拠点

TANAKAホールディングス株式会社(THD)

- 本社(東京)

田中貴金属工業株式会社(TKK)

- 本社(東京)・岩手工場・富岡工場・市川工場・袖ヶ浦工場
- 伊勢原工場・平塚工場・湘南工場・平塚テクニカルセンター
- 筑波事業所(テクニカルセンター)・伊勢原テクニカルセンター
- FC触媒開発センター・TANAKA物流センター
- 名古屋支店・大阪支店・福岡支店・京都営業所

田中電子工業株式会社(TD)

- 佐賀本社工場・東京事務所・湘南分工場

EEJA株式会社(EEJA)

- 本社(東京)・平塚事業所

田中貴金属ジュエリー株式会社(TKJ)

- 銀座本店・横浜元町店・仙台店・名古屋店
- 心斎橋店・福岡 西鉄グランドホテル店

三友セミコンエンジニアリング株式会社(MSE)

- 本社・工場(茨城)

株式会社日本ピージーエム(PGM)

- 本社(東京)・小坂工場

海外拠点

田中貴金属工業株式会社(TKK)

- 台湾田中貴金属工業股份有限公司・新竹工場・湖口工場・台北営業・高雄営業・田中先端有色金属材料(寧波)有限公司
- 田中先端有色金属材料(成都)有限公司・田中メタロー電工材料(蘇州)有限公司・田中貴金属工業株式会社 香港支店
- 田中貴金属(上海)有限公司・田中貴金属(上海)有限公司 深圳分公司・韓国TKK株式会社・田中貴金属(シンガポール)株式会社
- 田中貴金属(シンガポール)株式会社 マニラ支店・田中貴金属インターナショナル(タイランド)株式会社
- 田中貴金属インターナショナル(アメリカ)株式会社・田中貴金属インターナショナル(アメリカ)株式会社 サンノゼ支店
- 田中貴金属インターナショナル(欧州)有限公司・田中貴金属(インド)株式会社

田中電子工業株式会社(TD)

- 田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd. (TES)・田中エレクトロニクス・マレーシア Sdn. Bhd. (TEM)・田中電子(杭州)有限公司 (TEC)
- 台湾田中電子股份有限公司 (TET)・台湾田中電子股份有限公司 南科分公司(TETK)・台湾田中電子股份有限公司 テクニカルセンター (TET/TC)

Metalor Technologies International SA

Nippon PGM Europe S.R.O.

LT Metal Co., Ltd. (LT Metal)

成都光明派特貴金属有限公司(GMPT)

Nippon PGM America, Inc.

2023年5月末現在

写真:従業員の実家で保護・育成しているノカンゾウ・ハマカンゾウ

従業員一人ひとりの “個性”を原動力に、 持続可能な未来をめざします。

田中貴金属グループでは、当社の創業200年となる2085年を見据えた上で持続可能な社会や超長期の企業経営をめざす「TANAKAルネッサンスプラン」を2021年度よりスタートいたしました。

貴金属は、まさに可能性の塊です。宇宙、深海、人体をはじめとしたフロンティアの開拓も、人々の暮らしをより豊かにするデバイスやプロダクトの開発も、貴金属なしに成し得ません。その貴金属の可能性を引き出し、よりよい未来を創り出していくことが、貴金属のリーディング・カンパニーである私たちの使命といえますが、そこには、全従業員の知の結集が不可欠であり、イノベーションが生まれやすい組織文化を醸成していくことが求められます。従業員一人ひとりの個性こそが、当社を未来へ押し進める原動力になる。そのような考え方のもと、田中貴金属グループは2023年4月に、「DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)」をより積極的に推進していくことを宣言いたしました。新たに設置したDE&I推進室を中心に、従業員一人ひとりが自らの能力を伸ばし発揮できる機会づくりや、互いに刺激し合いともに成長できる環境づくりを進めています。

また、「TANAKAルネッサンスプラン」において、“サステナビリティ”も重要なキーワードのひとつです。2085年の遥か未来をめざすこの計画自体が持続可能性を追求する行為そのものといえるかもしれません。田中貴金属グループは、創業以来130年

以上にわたり貴金属のリサイクルを究めることで循環型ビジネスを構築してきましたが、これからはより高い視座・広い視野で、脱炭素・循環型社会への転換を先導していく企業にならなければならないと考えています。2022年度に表明した「田中貴金属グループカーボンニュートラル宣言」のもと、2050年にCO₂排出量実質ゼロをめざして、現在、各工場や事業所で地球環境を守るためのさまざまな取り組みを加速させています。今後も、希少な資源である貴金属を扱う私たちの強みを活かして、地球環境問題や社会課題の解決に取り組んでいきます。

2024年4月には、本社を丸の内から、田中貴金属発祥の地・日本橋茅場町へ移転いたします。新本社では「つながろう。人と、街と、未来と。」というコンセプトを設定し、2085年という遥か未来へと航海を進める田中貴金属グループの cockpit として、これからの時代を見据えた創造的な働き方を促進する環境づくりを進めていきます。仲間が出会い交流し、多様な価値観を認め合い、意見が自由に飛び交う。そのような組織文化を醸成しながら、持続可能な未来を創っていく。発祥の地・日本橋茅場町から未来というフロンティアをめざして航海を進め、挑戦と革新の歴史をさらに紡いでいきます。

代表取締役社長執行役員

田中浩-朗

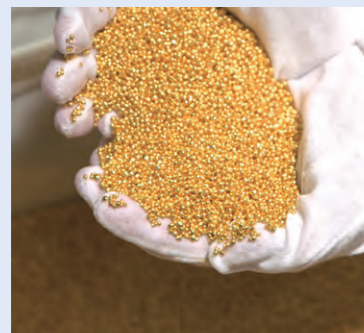


TANAKAの事業

田中貴金属グループは創業から130年以上にわたり、貴金属による特別な価値を世界へ届け続けてきました。これからも貴金属ができるすべてのことに取り組み、新しい領域を切り拓いていきます。

産業用

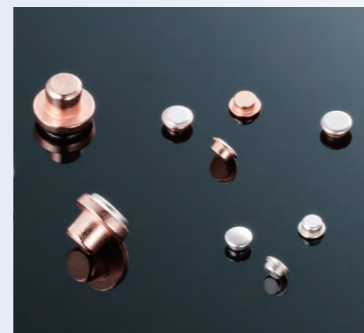
半導体・電子部品から車載、医療まで、幅広い事業分野においてお客様が抱える課題を解決する製品をお届けしています。貴金属業界のリーディングカンパニーとして、貴金属材料の安定供給を通じて産業全般を、そして社会の根幹を支えています。



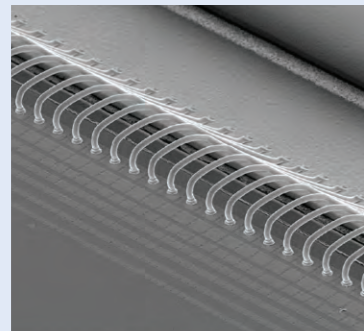
リサイクル



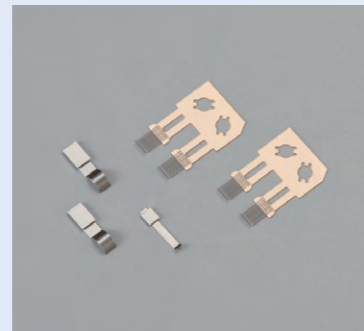
貴金属材料・素材



電気機能材料
(リレー・モーター・スイッチ)
エレクトロニクス機能材料



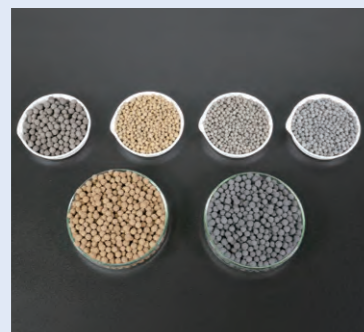
パッケージ・封止
半導体・電子部品



センサ材料



ガラス溶解装置・理化学品



エネルギー・環境
触媒



メディカル
検査キット



技術開発
化合物

資産用

資産を最適に分散し保全するための金・プラチナ商品を提供しています。



地金・コイン

金は6000年の間一度もその価値を失ったことがない唯一の存在であり、世界共通の資産です。LBMA^{*1}、LPPM^{*2}の公認審査会社でもある当社は、世界最高水準の技術で金地金、プラチナ地金を製造しており、お客様の安心のため、必ず新品の地金のみを販売しています。また当社は各国造幣局に発行国以外で唯一認められた輸入販売総代理店として、金貨、プラチナコインを販売しています。美しいデザインは贈り物としても人気があります。

^{*1} LBMA London Bullion Market Associationの略
^{*2} LPPM London Platinum and Palladium Marketの略

田中貴金属の 純金積立

貴金属積立商品

「田中貴金属の純金積立」は、ひとつの口座で月々3,000円から「金」「プラチナ」「銀」を購入することができる商品です。未来の安心に向けて、着実に続けられます。

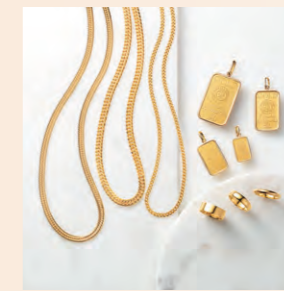
宝飾用

人生のさまざまなシーンを輝かせる宝飾品を、永く愛するにふさわしい確かな品質でお届けしています。



ジュエリー・工芸品

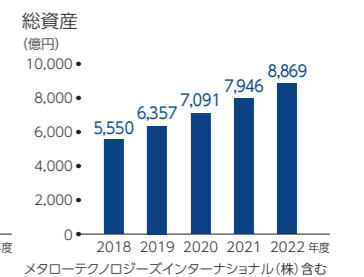
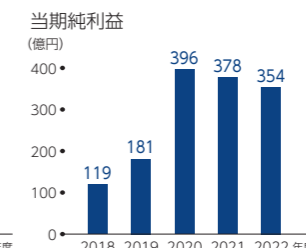
“田中貴金属”の歴史と伝統に培われた確かな品質をお客様にご提供しています。



田中貴金属グループ財務状況

業績要約

	百万円		
	2021年度	2022年度	前年度比
売上高	787,728	680,036	86.3%
当期純利益	37,757	35,436	93.9%
総資産	794,617	886,948	111.6%



研究開発

田中貴金属グループにとって、研究開発は価値創造の源泉です。
 広い視野をもって貴金属の可能性を追求し、
 より豊かな社会、そして美しい地球の未来への扉を着実に開き続けています。

半導体検査装置向け 「プローブピン用新合金TK-FS」を開発 ～同一材料で幅広いタイプに対応することが可能～

田中貴金属工業(株)では、主に半導体パッケージのファイナルテスト用(後工程)のテストソケットにてポゴピンタイプで使用されるプローブピン向けに、パラジウム(Pd)系素材を多く製造販売していました。今回発表した「TK-FS」は、ポゴピンタイプのみならず、ウェハーテスト用(前工程)プローブカードのカンチレバータイプや、バーチカルタイプなど、幅広いタイプのプローブピンに対応できる材料です。本製品は、ビッカース硬さ500以上、電気抵抗率 $7.0\mu\Omega\cdot\text{cm}$ 以下、10回以上の繰り返し折り曲げ耐性という3つの機能を有します。高硬度、低電気抵抗率、高屈曲性という3つの機能を同時に達成する材料は、田中貴金属工業(株)の既存製品にはありませんでしたが、本製品はこの課題を解決することに成功し、同一材料で、さまざまなタイプのプローブピンへの適用が可能となりました。

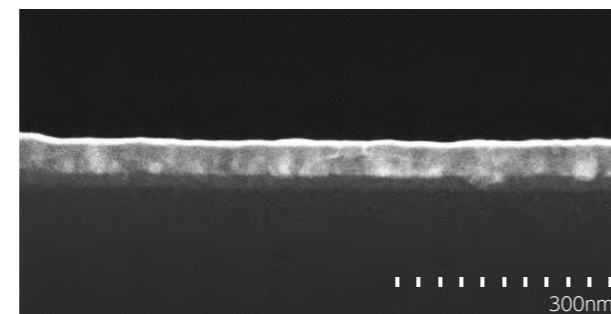
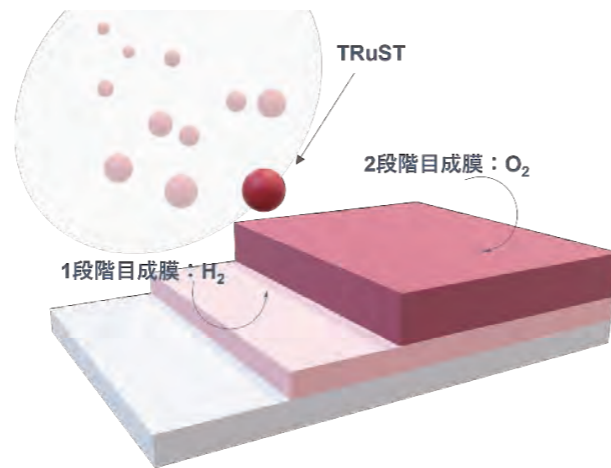


「TK-FS」製品

半導体の微細化と耐久性向上に寄与する 新たなルテニウム成膜プロセスを確立

田中貴金属工業(株)では、ルテニウムを中心に次世代半導体に向けた高純度の貴金属プリカーサー「TRuST」の開発を行っています。その成膜にあたっては酸素による1段階成膜がこれまでの主流プロセスでしたが、このたび、酸素と水素を用いた2段階の成膜プロセスの確立に成功しました。

この2段階成膜では、水素成膜によって下地の表面酸化のリスクが低減され、酸素成膜によってルテニウムの純度をほぼ100%に保つ高純度の成膜を行うことが可能です。さらに先に水素成膜で下地を形成することで、その上の酸素成膜によるルテニウム膜も平滑で緻密となり、従来以上の低抵抗値を実現します。今後、半導体のさらなるスケール縮小に伴い、ルテニウム膜においてもより薄く低抵抗な成膜の需要が見込まれる中、2段階成膜によってその課題を解決することが可能です。



TRuSTによる2段階成膜イメージ図(上)
 TRuSTによる2段階成膜の断面SEM画像(下)

TOPICS

100%リサイクル材のみを利用した再生貴金属材「REシリーズ」を発表

REシリーズ(読み方:アールイーシリーズ)は、金(Au)や白金(Pt)などの貴金属資源において100%貴金属リサイクル材のみを精製利用した再生貴金属材です。田中貴金属工業(株)では、創業以来、貴金属リサイクル事業を行ってききましたが、このたび、REシリーズ製造ラインを拡充することにより、100%リサイクル貴金属材のみを用いた製品提供を進めることとしました。田中貴金属工業(株)が提供するREシリーズ原料の製品はすでに第1弾としてめっき液用化合物に適用されていますが、第2弾として、田中電子工業(株)が製造する「金ボンディングワイヤ」へも製品展開いたします。



REシリーズロゴ



ボンディングワイヤ製品

知的財産の創出と保護

発明、考案、意匠、商標、著作物などの知的財産およびノウハウは、企業の重要な財産であるとの認識のもとに、積極的な創出に努めています。新技術の研究、製品・商品の開発、生産および販売にあたっては、第三者の知的財産権を尊重し、侵害行為に対しては各国の法令に則って厳正に対処しています。また、知的財産への意識向上のため、技術部門を中心に年間を通して知的財産教育を実施しています。

品質と信頼

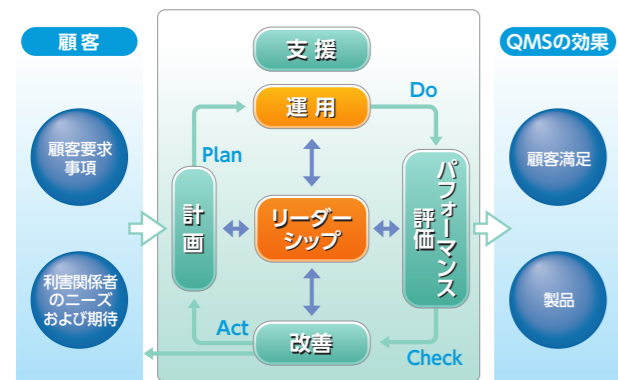
「良い物」をお客様にお届けすることが、田中貴金属グループの信条です。製品自体の品質はもちろん、製品をつくる過程で人権、環境、安全・衛生、倫理などにも配慮しています。

品質マネジメントシステムの構築

田中貴金属グループの全工場で、ISO9001に基づく品質マネジメントシステム(QMS)を構築し運用しています。

お客様からの多様な要求品質に対して迅速に対応し、満足いただける安心で安全な製品を継続的に提供するため、QMSの有効性をレビューするとともに、自動車業界向けQMSであるIATF16949の要求事項を反映させるなど、システムの改善に取り組んでいます。

●品質マネジメントシステムの体系図



顧客満足度調査

田中貴金属グループでは2016年度より「顧客満足度調査」を実施しています。本調査は、国内外の産業用ビジネスのお客様より毎年アンケートにご回答いただくことで当社に対する真のご要望やご不満を把握し、さまざまな改善に役立てることを目的としています。

2022年度は268社のお客様よりご回答をいただき、平均75.1点(満点:100点)でした。2016年度の調査開始時は平均61.2点でしたが、近年は安定して75点以上の評価を頂戴しています。今後もお客様の満足度向上に向けてさまざまな改善を進めます。

お客様にご満足いただけるCSR外部評価

○RBA※1監査

田中貴金属グループでは、RBA行動規範に沿った「田中貴金属グループ行動憲章・行動規範」を策定し、役職員一人ひとりが日常業務の中で、人権、環境、安全・衛生、倫理などの社会的責任を果たすことを定めています。

2022年度も、複数の国内外工場がRBA認定第三者機関による監査やお客様直接の監査により、RBA行動規範遵守状況の評価を受けました。

○EcoVadis※2認証

EcoVadisによる全社CSR評価(環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達)を受け、2022年度もシルバ認証を継続取得しました。

※1 RBA (Responsible Business Alliance 責任ある企業同盟): 電子・電機業界のグローバル有力企業を中心に運営するCSR推進組織。企業が遵守すべきCSR規範を、具体的にRBA行動規範として定めている。
 ※2 EcoVadis: 世界175か国、200業種、9万以上の団体・企業の評価を行っているCSR評価機関で、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズ、評価なしの5段階の評価ランクがある。

●取引先への審査

取引のグローバル化に伴うリスクに対応するため、人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除、制裁対象先や反社会的勢力との取引回避といった観点から、取引先の厳正な審査を行っています。

顧客からの評価

お客様の生産活動を支える田中貴金属グループの取り組みは、さまざまなお客様から表彰などの形で評価をいただいています。

【2022年度】お客様からの主な表彰

カンパニー	お客様名	受賞名	表彰を受けた理由
AuAg カンパニー	パナソニックインダストリー株式会社 メカトロニクス事業部 リレービジネスユニット	ベストサプライヤー賞	お客様の生産急増に設備増設他デリバリー対応
	富士電機株式会社	2022年度事業方針説明会 取引先表彰 優良賞	QCの総合的な取引協力
	欧姆龙電子部品(深圳)有限公司 OMRON ELECTRONIC COMPONENTS (SHENZHEN) LTD.	優秀サプライヤー	顧客価値創出に優れたパフォーマンス
化学回収 カンパニー	株式会社キャタラー	品質賞	納入不良ゼロ・安全・供給・技術面の協力
	日本特殊陶業株式会社	貴金属部門 最優秀賞	目標を上回るVA提案の提出、価格協力
	MEP Enviro Technology Sdn. Bhd.	Best Strategic Partner Award	長年の回収のBest Supportへの感謝
半導体 カンパニー	日月光半導体製造股份有限公司 Advanced Semiconductor Engineering, Inc.	永續供應獎 ESGサプライチェーン賞	持続可能なESGのあらゆる面で 優れたパフォーマンスを発揮
	高雄市政府	2022年高雄績優日商-新增投資 2022年高雄優良日系企業表彰	高雄市への継続的な投資に感謝の意
	Infineon Technologies	感謝状	Technology Development Forum 2023での プレゼンテーションの表彰
	力成科技(苏州)有限公司 Powertech Technology(Suzhou)Ltd.	2022年度優秀サプライヤー賞	新型コロナウイルスの流行期間も含め、 いつも安定的に高品質の金ワイヤを供給できたこと
	Unimos Microelectronics (Shanghai) Co., Ltd.	①2022年度協力供給商 ②コロナロックダウン時期協力感謝信	2022年度 ロックダウンの中、多岐にわたる 協力への感謝(デリバリー、サービス)
AP カンパニー	日本航空電子工業株式会社	ベストサプライヤー賞	めっき液の開発に尽力し コスト改善を実現、お客様の業績に貢献
	IBIDEN Philippines, Inc.	Best Supplier Award	以下項目の総合評価においてベストサプライヤーとして表彰 (品質、継続的な改善、納期、顧客サービス、説明責任のレベル)

サプライチェーン・マネジメント

○責任ある鉱物調達への取り組み

田中貴金属グループでは、「責任ある鉱物調達方針」※1を制定し、いわゆる紛争鉱物(金、タンタル、タングステン、すず)やコバルトなどの原材料鉱物の調達において、児童労働をはじめとする人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除を推進しています。

○LBMA※2およびLPPM※3レスポンシブル認証の取得

白金、金、銀、パラジウムについては、LBMAおよびLPPMレスポンシブルガイドランスに基づくデューデリジェンスを行い、指定第三者機関による監査を受け、毎年認証を取得しています。リサイクル材を含む貴金属原料の調達にあたっては、お取引先が、CSR(環境、人権、社会、法令遵守、倫理など)の観点から問題やリスクを抱えていないかを慎重に精査し、責任ある貴金属地金の販売を実現しています。

○調達先への働きかけ

主要な調達先に対して「RBA行動規範」の遵守をお願いするとともに、CSRセルフアセスメントの実施をお

願っています。事業への影響が大きくリスクが高いと判断した調達先には、訪問調査も行っています。

2022年度は約160社に対してCSRセルフアセスメントを依頼し、調達先の自主的な改善を促しています。重大な問題を特定した調達先はありませんでした。

業界団体であるJEITA(電子情報技術産業協会)の「CSR委員会」教育・啓発タスクフォースにメンバーとして参加し、調達先への「責任ある企業行動ガイドライン」教育資料の作成に携わりました。2022年10月の説明会には主要調達先に参加いただきました。



※1 https://www.tanaka.co.jp/sourcing_policy/
 ※2 LBMA:ロンドン地金市場協会 ※3 LPPM:ロンドン・プラチナ・パラジウム市場協会

地球環境を守る

美しい地球を未来へ継承することは、国際社会共通の課題であり、大きな挑戦でもあります。田中貴金属グループは、事業活動による環境への負荷を最小化するために、あらゆる可能性を追求しています。

2050年カーボンニュートラル宣言

2022年4月に「田中貴金属グループ カーボンニュートラル宣言」を表明し、2050年にCO₂排出量実質ゼロをめざすことを宣言しました。また、社長をプロジェクトリーダーとする全社横断プロジェクトチームを立ち上げ、工場でのエネルギー効率の向上や脱炭素社会に貢献する製品開発など、カーボンニュートラルの実現に向けた対策を進めています。

田中貴金属グループ カーボンニュートラル宣言

田中貴金属グループは、地球温暖化という地球規模の社会課題に対し、2050年までにカーボンニュートラルの達成を掲げ、脱炭素社会に資する技術を自らそして社会に積極的に実装していくことで、地球温暖化問題の解決に挑戦します。

事業活動に伴う温室効果ガスを削減するために、自社工場・事業所では、エネルギー効率の向上と製造プロセスの改善、使用するエネルギーのグリーン化など、排出量削減の活動を継続的に実施していきます。

同時に、温室効果ガス削減に貢献する触媒やEV化等に伴う高性能材料など脱炭素社会に向けて取り組むお客様のご期待に応える製品を提供いたします。さらには貴金属リサイクルビジネスの強化によって循環型社会へ貢献することで、豊かで持続可能な地球の未来を私たちの手で創り出します。

また、「TANAKAの森」を創るなど、植林や森林の再生を保全する活動も視野に入れて進めていきます。

田中貴金属グループはこれらの活動を通してカーボンニュートラルを目指します。

2022年度より社長直轄の全社横断的なプロジェクトチームを結成し、具体的な対応策を検討し実行していきます。これからも田中貴金属グループは、貴金属独自の特性を活かした製品・ソリューションを通じ、お客様はもとより社会全体に価値を提供していきます。



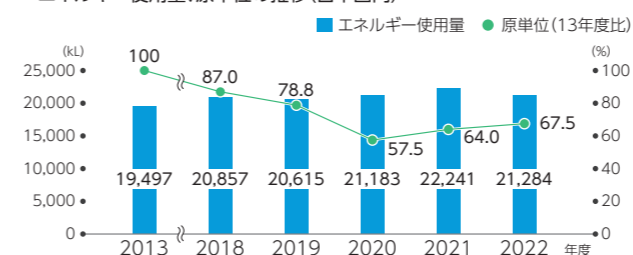
地球温暖化防止の取り組み

田中貴金属グループでは、省エネ法に準拠するため国内拠点においてエネルギー原単位を毎年1%改善する目標を定めています。2022年度はグローバルでのCO₂排出量が前年度比3.5%減となりました。一方、日本国内のエネルギー原単位は前年度比3.5%増(2013年度比32.5%減)となりました。

今後もさまざまな機器の効率化や運用改善などの省エネルギー活動を強化します。

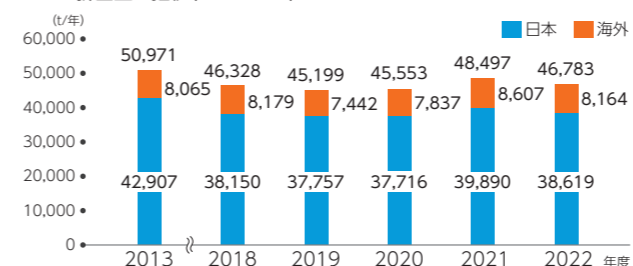
全社目標 >> エネルギー原単位を毎年1%改善

●エネルギー使用量、原単位の推移(日本国内)



※エネルギーは電気、ガスなどを原油換算して算出。
原単位は損益計算書の売上総利益を分母として算出。

●CO₂排出量の推移(グローバル)



※各工場・事業所が立地する地域の電気事業者別CO₂排出係数を年度ごとに使用して算出。
海外拠点については各国・地域の平均CO₂排出係数を使用して算出。

●事業所別のCO₂排出量(2022年度)

工場名	CO ₂ 排出量(t)
田中貴金属工業(株)湘南工場	7,878
田中貴金属工業(株)富岡工場	6,288
田中貴金属工業(株)袖ヶ浦工場	4,694
田中貴金属工業(株)市川工場	4,023
田中貴金属工業(株)平塚工場	3,876
田中貴金属工業(株)筑波事業所	3,672
田中貴金属工業(株)伊勢原工場	2,994
田中貴金属工業(株)岩手工場	2,453
田中電子(杭州)有限公司(TEC)	2,238
田中エレクトロニクス・シンガポール(TES)	1,699
田中エレクトロニクス・マレーシア(TEM)	1,589
田中電子工業(株)佐賀本社工場	1,221
台湾田中貴金属工業股份有限公司 新竹工場	1,101
台湾田中貴金属工業股份有限公司 湖口工場	877
台湾田中電子股份有限公司(TET)	661
EEJA(株)	561
その他	959

○太陽光発電の導入

三友セミコンエンジニアリング(株)では2022年度に太陽光発電を導入しました。2022年度は年度途中からの稼働でしたが、工場全体の年間エネルギー使用量に対して8%のエネルギー削減効果となりました。



三友セミコンエンジニアリングに設置した太陽光パネル

●太陽光発電導入工場リスト

工場名	エネルギー削減効果
田中貴金属工業(株)湘南工場	1%
田中貴金属工業(株)富岡工場	3%
田中貴金属工業(株)平塚工場	2%
田中貴金属工業(株)筑波事業所	4%
田中貴金属工業(株)伊勢原工場	4%
田中電子工業(株)佐賀本社工場	3%
三友セミコンエンジニアリング(株)	8%

TOPICS

グループ会社のMetalor Technologies International SAでは、スイス、フランス、米国、メキシコ、中国、香港の各拠点で太陽光発電を導入しており、メタログループ全体のCO₂排出量を13%削減しています。



フランス クルヴィル

メキシコ サン・ルイス・ポトシ

地球環境を守る

循環型社会の構築をめざして

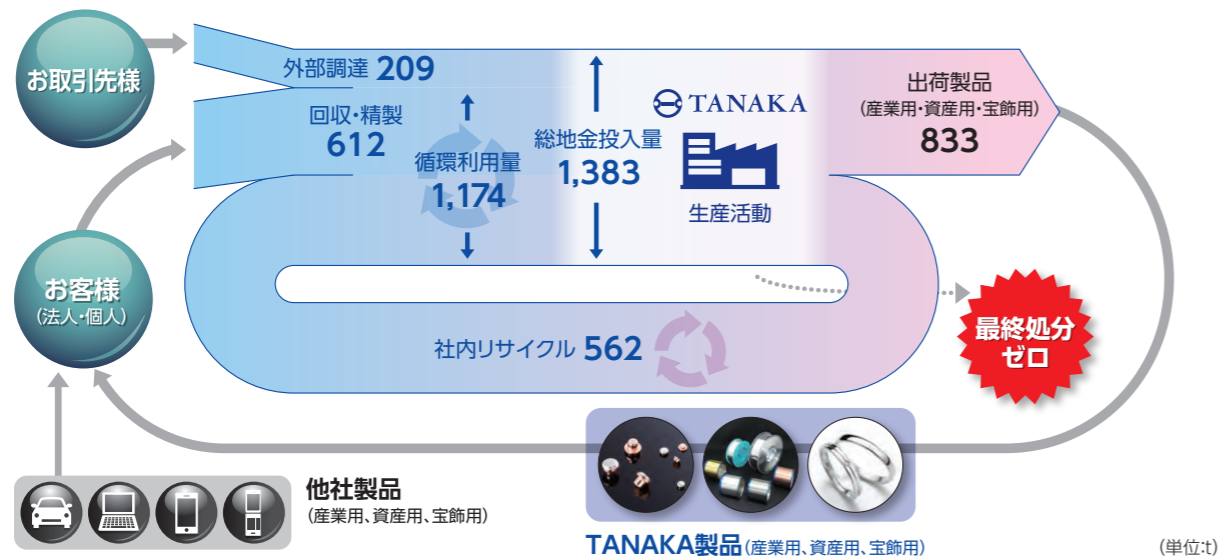
田中貴金属グループは、創業以来絶えることなく貴金属のリサイクルを継続してきました。今日では全従業員が「地金はお金」を合言葉に生産設備内はもとより作業服などに付着した極微量の地金も丁寧に回収しています。

2021年度より始まった中期実行計画「TANAKAルネッサンスプラン」では、循環型社会の構築、ならびにサーキュラーエコノミーの実現に向けた施策を強化すべく、「直接材／間接材／産廃(産業廃棄物)」の3つの領域で当社の活動を再整理しました。

直接材	貴金属の循環利用、環境指標の改善
間接材	CSR報告書再資源化の継続、他の間接材の再資源化を検討
産 廃	産業廃棄物の削減、ゼロエミッションの推進

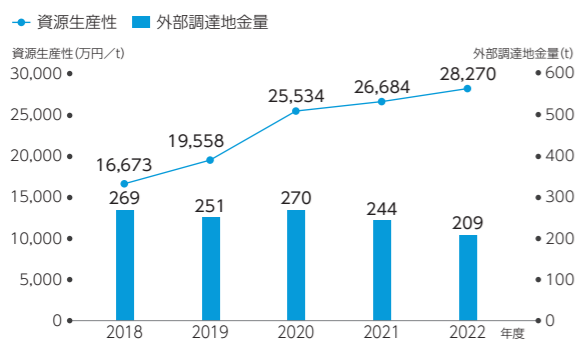
直接材 貴金属の循環利用

●田中貴金属グループ地金フロー図(2022年度)

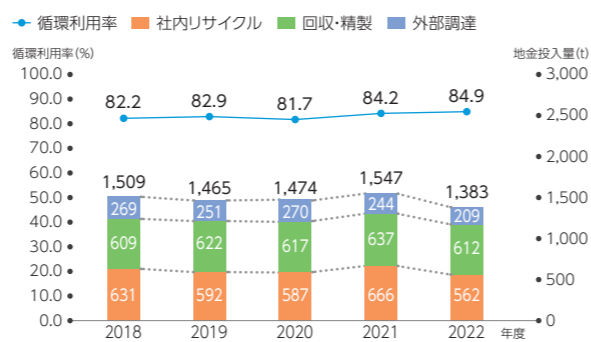


- 貴金属の種類…白金、金、銀、パラジウムなど。
- 外部調達…商社や鉱山会社など、市場から購入した地金。
- 回収・精製…お客様からおあずかりした回収物より精製した地金。
- 社内リサイクル…製造工程において発生した、製品とならなかった部分の地金。リターン材。何度も繰り返し再利用するため、インプットとアウトプットの重量は一致しない。
- 出荷製品…製品として出荷した地金。

●資源生産性(売上総利益/外部調達地金量)



●循環利用率(循環利用地金量/総地金投入量)



「資源生産性」は、外部調達地金1トン当たりの利益であり、環境視点での「稼ぐ力」といえます。「循環利用率」は、総地金投入量に占める自社でリサイクルした地金量であり、約8割で推移しています。今後、これらの環境指標を改善することで、循環型社会の構築とサーキュラーエコノミー※の実現に貢献します。

※循環型社会の実現と経済活動を両立させる概念。廃棄物や事業活動のムダから富を生み出すことが求められる。

間接材 CSR報告書の再資源化

CSR報告書をLIMEXで印刷し、従業員が読み終えたCSR報告書を回収して再利用するアップサイクルを実現しました



間接材での資源循環の取り組みとして、2019年度よりCSR報告書をLIMEX(ライメックス)※で印刷し、読み終えた冊子を回収して再利用しています。これまでにコースター、コップとして再生し、全従業員へ配付しました。3回目は社内での再利用ではなく、より広く社会貢献につなげるため、鎌倉市の中学校9校で使用される給食用のトレーへ再生して寄贈しました。

※LIMEXは、地球上にほぼ無尽蔵に存在する石灰石を主原料とし、水と木材パルプをほぼ使用せずに紙やプラスチックの代替となる環境に配慮した新素材です。「田中貴金属グループCSR報告書2023」では、1冊につき約15Lの水を守ることができます。

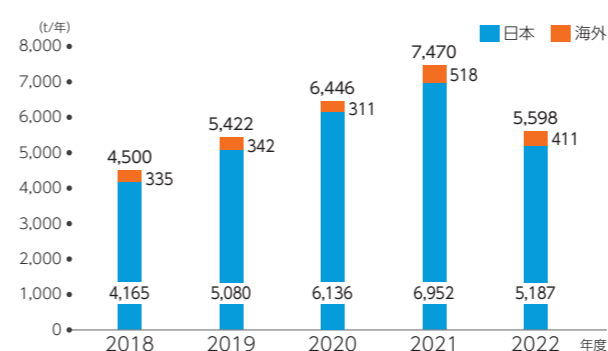


産廃 産業廃棄物の削減

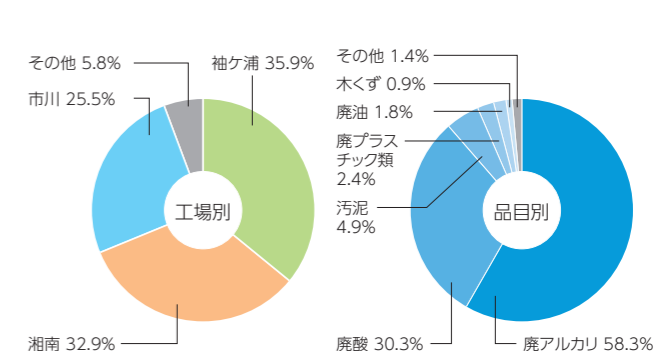
田中貴金属グループでは、国内拠点において産業廃棄物排出量を毎年1%削減する目標を定めています。2022年度は新たに廃物の有価物化に取り組んだ結果、産業廃棄物排出量が前年度比25%減となりました。事業拡大に伴う廃棄物の発生を抑制できるよう、さらなる対策を進めます。

全社目標 産業廃棄物排出量を毎年1%削減

●産業廃棄物排出量の推移(グローバル)



●産業廃棄物排出量の内訳(2022年度)(日本国内)



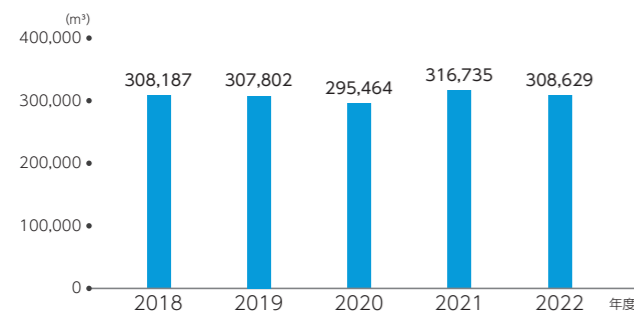
地球環境を守る

水使用量の削減

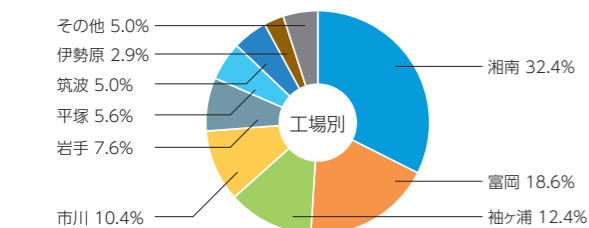
世界的に水不足への懸念が高まっており、事業活動における水使用量の削減に努めています。グループ全体の水使用量を工場別にみると、湘南工場、富岡工場で全体の約半分を占めています。

今後も排水処理による自工場内での水リサイクルやプロセス改善などにより、水資源の有効活用にも努めます。

●水使用量の推移(日本国内)



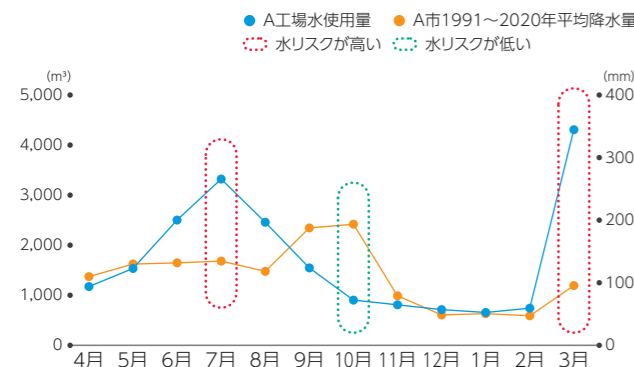
●水使用量の内訳(2022年度)



○水リスクの把握

全工場の水使用量と、立地地域における平均降水量を把握しています。降水量の少ない時期を水リスクが高まる期間と想定し、水使用量の削減をめざしています。

●水使用量と平均降水量の相関(例)



過去30年間の平均降水量と、前年度の水使用量実績の推移を比較し、水リスクが高い時期と低い時期を特定。

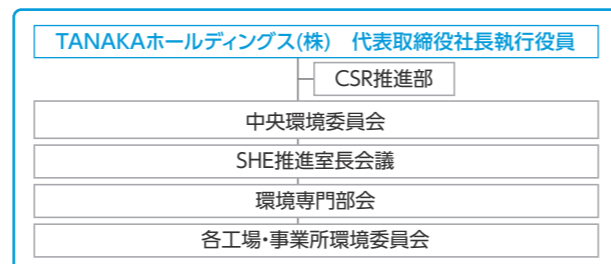
環境マネジメントシステム

国内の全生産拠点で環境マネジメントシステム「ISO 14001」の認証を取得し、環境保全活動を実施しています。特に、CO₂排出量削減(地球温暖化の防止)、産業廃棄物排出量削減(循環型社会の形成)、環境異常撲滅活動(汚染の予防)については、グループ全体の目標を定め積極的に取り組んでいます。

環境保全活動を着実かつ円滑に推進するために、各工場・事業所長で構成される中央環境委員会を最上位としたグループ組織体制を構築しています。また、SHE※推進室長会議、環境管理者で構成される環境専門部会を定期的に開催し、情報共有および積極的な意見交換を重ねています。

※SHEは、英語の「安全、衛生、環境」の頭文字です。

●環境保全推進体制



●ISO14001認証取得事業所一覧

事業所名	取得年月
田中貴金属工業株式会社	
湘南工場	2000年 10月
市川工場	2002年 5月
テクニカルセンター	2002年 5月
平塚工場	2002年 10月
岩手工場	2005年 1月
伊勢原工場	2005年 3月
富岡工場	2005年 3月
筑波工場	2013年 12月
台湾田中貴金属工業股份有限公司	2010年 5月
田中先端有色金属材料(寧波)有限公司	2019年 1月
田中電子工業株式会社 佐賀本社工場	1999年 8月
田中エレクトロニクス・マレーシア	1999年 6月
田中エレクトロニクス・シンガポール	1999年 12月
田中電子(杭州)有限公司	2005年 2月
台湾田中電子股份有限公司	2013年 3月
EEJA株式会社	2000年 11月

環境異常撲滅活動

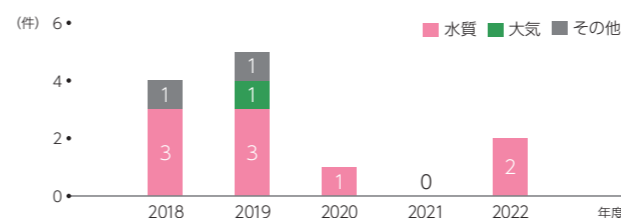
水質汚濁、大気汚染などを未然に防止するため、法規制値よりもさらに厳しい社内自主基準値を設定しています。この自主基準値を超過した場合を「環境異常」と定義しており、さまざまな未然防止活動・再発防止対策を行っています。

●主な社内ルール

項目	内容
通常管理	自主基準値管理 法基準の50%を自主基準値として設定
異常対応	環境異常速報 異常事態が発生した際の早期情報伝達(原因分析と対策は環境専門部会で確認)
	通報・届出基準 異常発生時における関係行政への通報・届出に関する基準

※環境異常の定義：法規制違反、自主基準値オーバー、近隣クレーム、場内で取まった軽微な事故など

●環境異常発生件数



生物多様性保全

2020年度より、希望する従業員の自宅や工場の敷地内でノカンゾウ・ハマカンゾウを育てて、増えた株を元の生息地である鶴見川の川辺(神奈川県横浜市)と小網代の森(神奈川県三浦市)に返還しています。毎年夏になると美しいノカンゾウ・ハマカンゾウの花が咲くようになりました。

<この活動の目的>

川辺や公園などに繁茂する「ネズミホソムギ」は花粉症の原因として知られ、草刈りでの除去は困難です。そこで、在来種であり地域の希少種でもあるノカンゾウ、ハマカンゾウなどで代替(グラウンドカバー)することで、ネズミホソムギ群落の抑制をめざしています。ハマカンゾウは盗掘被害に遭うことがあるため、安全な従業員の自宅や工場・事業所内での保護・育成を行っています。



※01ページ(会社情報、目次)の下部に、従業員の自宅で作ったノカンゾウ・ハマカンゾウの写真を掲載しています。

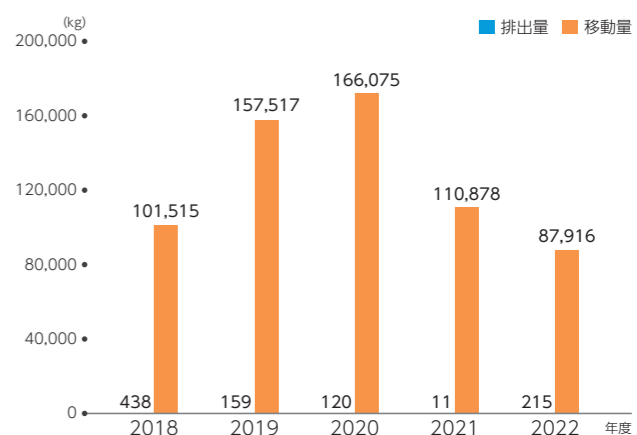
環境汚染の防止

「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律(PRTR※法)」に基づく対象物質について、環境への排出量および事業所外への移動量を国に届け出ています。

今後も環境汚染を防止するため、事業活動における化学物質の適切な管理に努めます。

※ PRTR Pollutant Release and Transfer Register (化学物質排出移動量届出制度)

●PRTR対象物質の全排出量・移動量(日本国内)



2023年5月に、4年ぶりとなる小網代の森ボランティアエコツアーを開催しました。当日は従業員および家族の計40名が参加し、ハマカンゾウの保全作業を行いました。また、森や干潟の散策を行いました。

<この活動の目的>

2011年3月に発生した東日本大震災の際、小網代湾も数度の津波に襲われました。この時、小網代の森で海沿いに生息していたハマカンゾウの群落がほぼ全滅しましたが、残っていた28株を保護し、群落として復元する作業をNPO法人小網代野外活動調整会議が進めています。この活動を複数の企業が支援しており、田中貴金属グループも2018年度より参加しています。



従業員と家族でハマカンゾウを移植

地域・社会への貢献

田中貴金属グループは、事業活動を通じてご縁が生まれる地域や国がより健やかで豊かになるように、自らができる貢献をめざしています。会社としての支援、従業員によるボランティアの両面から、継続性を大切にする活動を各地で展開しています。

◆ スポーツ振興

「東京都スポーツ推進企業」の認定

TANAKAホールディングス(株)は、従業員の健康促進や社内コミュニケーションの活性化をめざしたスポーツ活動を推進しています。

その他、2012年から日本パラスポーツ協会(JPSA)のオフィシャルパートナー、2017年からは日本ブラインドサッカー協会(JBFA)とブラインドサッカー女子日本代表への協賛を通じて、CSR活動の一環としての障がい者スポーツ・パラアスリートの支援と障がい者スポーツへの理解促進に向けた活動を行っています。

このような活動が評価され、2015年度より8年連続で東京都より「東京都スポーツ推進企業」の認定を受けました。



障がい者スポーツへの支援・参加

2022年に新設されたブラインドサッカー初となるトップリーグ「LIGA.iブラインドサッカーTOPリーグ2022」(主催:日本ブラインドサッカー協会)に、カテゴリースポンサー(表彰・セレモニー)として協賛しました。国内および世界におけるブラインドサッカーのさらなる発展への寄与と、チーム・選手に授与されるリーグ杯、メダル、記念品を提供を通じ、表彰・セレモニーの運営に協賛いたしました。



優勝した「埼玉T.Wings」



優勝した埼玉T.Wingsへ優勝銀皿の授与



優勝メダル授与の様子

©H.Wanibe/JBFA

◆ 人財育成

貴金属リサイクル&ダイバーシティ出張授業

田中貴金属グループは、日本ブラインドサッカー協会と共同で、都内の中学校を訪れ、貴金属リサイクルとダイバーシティに関する出張授業を実施しました。生徒は貴金属や都市鉱山の重要性を学びました。また、ブラインドサッカー選手の講義では、グループワークを通じてダイバーシティの理解を深めました。学校側からは有益な経験として好評であり、生徒たちからも環境への意識や多様性の理解が高まったとの声が寄せられました。



田中貴金属記念財団

○ 貴金属に関わる研究助成金

本制度は、貴金属が貢献する新しい技術や研究・開発を支援するため、1999年度から毎年実施しています。24回目となる今回は、合計159件の応募があり、24件の研究に対し総額1,620万円の研究助成金を給付しました。

● ゴールド賞 各200万円 2件

メスパウアー分光パラメータと計算化学の活用による貴金属の抽出分離モデリング

日本電子力研究開発機構 研究員 金子 政志 様

貴金属基ハイエントロピー合金における組織制御の試み
北海道大学 教授 三浦 誠司 様

○ 学生応援活動

2018年度～2021年度 奨学金給付の実施(東北大学様)

2021年度 「100円朝食」

2022年度 「100円朝食応援」「50円メロンパン企画」
第61回 全国七大学総合体育大会
(優勝トロフィーと大会ピンバッジ進呈)



川内の社ダイニング



カスタインメロンパン



ピンバッジ

- ◆ 100円朝食 28日間延べ約19,000食
- ◆ 50円メロンパン 33日間計約10,000個

主な活動

スポーツ振興活動 2022年に初開催の「東京レガシーハーフマラソン2022」に純金・純銀・純銅の表彰メダルを提供しました。TANAKAホールディングス(株)

寄付・募金活動 福祉施設を運営する2法人(介護施設・障がい児入所施設)に福祉車両をそれぞれ寄贈しました。EEJA(株)

寄付・募金活動 各工場・事業所ではさまざまな寄付・募金活動を行っています。
・TANAKAホールディングス(株)(東京)・田中貴金属工業(株)各工場・事業所・田中電子工業(株)佐賀本工場・EEJA(株)平塚事業所
・田中貴金属ジュエリー(株)・田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd.・田中エレクトロニクス・マレーシア Sdn. Bhd.
・田中電子(杭州)有限公司・台湾田中電子股份有限公司

地域清掃活動 各工場・事業所では工場および周辺などの清掃活動を定期的に行っています。
・田中貴金属工業(株)富岡工場・田中貴金属工業(株)伊勢原工場・田中貴金属工業(株)湘南工場
・田中貴金属工業(株)筑波事業所(テクニカルセンター)・田中電子工業(株)佐賀本工場・田中貴金属ジュエリー(株)銀座本店
・田中貴金属インターナショナル(欧州)有限公司・田中電子(杭州)有限公司



その他の活動はホームページから <https://www.tanaka.co.jp/about/csr/communication.html>

一人ひとりの活躍

多様性を増す従業員一人ひとりが輝ける職場環境づくりは、田中貴金属グループの将来にとって欠かせません。すべての従業員が活躍できるように、さまざまな切り口から職場環境の整備に取り組んでいます。

働き方・休み方改革と多様な従業員の活躍

田中貴金属グループでは、多様な従業員がそれぞれいきいきと働ける職場環境づくりをめざしています。その一環として、働き方や休み方の見直しと改善に、複合的なアプローチで取り組んでいます。

日本国内	2021	2022
年次有給休暇(5日以上)取得率	100%	100%
年次有給休暇平均取得日数	12.8日	15.0日
(製造部門)	12.5日	14.5日
(間接部門)	13.6日	15.5日
平均残業時間	14.49時間	12.38時間
平均勤続年数 男性	14.4年	15.1年
平均勤続年数 女性	13.2年	13.8年
介護休暇	4名	4名
介護短時間勤務	1名	2名

年次有給休暇

2019年4月から施行された「働き方改革関連法」に対応するため、グループ全体で取り組んでいます。2018年度より「年次有給休暇5日以上取得」を目標に掲げ、全事業所で達成しました。

介護と仕事の両立支援

従業員が介護と仕事を両立できる職場環境を整備するため、さまざまな取り組みを実施しています。

1. 法定を超える制度

【介護休業】 要介護状態にある家族1人につき365日取得可能です。

【介護短時間勤務】 勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮可能です。

2. 相談窓口の設置

社内外に相談窓口を設置し、介護に関する従業員の相談に対応しています。

3. 従業員への情報提供

従業員が介護に直面する前から介護に関する情報を得られるよう、年齢別研修での冊子の配付や社内イントラネットでの情報提供を実施しています。



TOPICS

くるみん認定取得(※2022年度認定取得 田中貴金属グループ4社)

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から認定を受けました。次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し一定の基準を満たした企業が認定されます。引き続き、くるみん認定継続に向けて取り組んでいきます。

認定会社:
TANAKAホールディングス(株)／田中貴金属工業(株)／EEJA(株)／田中貴金属ジュエリー(株)
※田中貴金属工業(株)は今回初認定
田中電子工業(株)は2025年認定に向け活動します。



子育てと仕事の両立支援

従業員が子育てと仕事を両立できる職場環境を整備するため、法令で定められている以上にさまざまな取り組みを行っています。今後も働き方改革とワークライフバランスの観点から、従業員の子育てと仕事の両立支援に取り組めます。

1. 法定を超える制度

【配偶者出産時の特別有給休暇】

配偶者が出産した場合には、入院・退院・届出に充てるため、特別有給休暇を3日間取得可能です。

【育児休業】

原則1歳6か月(条件を満たした場合は最長2歳)まで取得可能です。

【育児短時間勤務】

最長で子が小学5年生となった4月15日まで適用可能です。

勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮することが可能です。

【子の看護休暇】

最長で子が小学2年生となった4月15日まで取得することが可能です。

2. 男性の育児休業等取得促進

配偶者が出産した従業員とその上司へのリーフレット配付や、役職者研修での冊子の配付を通じて、育児に関連する会社制度の周知および制度を利用しやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。また実際に育児休業を取得した男性の声を聞く「ワーパパ座談会」を開きレポートを社内で公開するなど、男性の育児休業について具体的にイメージができるような取り組みも行っています。

男性の育児休業取得者は2016年度以降増加傾向となっています。

2022年度には過去最多の27人が育児休業を取得するなど、取り組みの成果が少しずつ表れています。(29ページ参照)

今後も従業員の子育てと仕事の両立支援に向けた取り組みを拡充します。

【ワーパパ座談会のレポート】



男女の賃金格差(田中貴金属工業(株))

正規労働者	79.8%
非正規労働者	67.7%
すべての労働者	65.5%

- 対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日
- 常用労働者数301名以上の田中貴金属工業(株)日本国内従業員が対象
- 女性の平均年間賃金÷男性の平均年間賃金により割合を算出
- 正規・非正規ともに複数の従業員区分を設定しているが、それぞれの従業員区分における給与処遇・評価基準については男女同一のものを適用

一人ひとりの活躍



社内SNS「TUNAG」(ツナグ)の利用を開始

田中貴金属グループでは、「お互いを知る」ツールとして、そしてさまざまな活動の周知や関わっている人の想いを共有する場として、社内SNS「TUNAG」を立ち上げました。

1. 社内の活動や広報物など、より多くの「従業員に知ってほしいコンテンツ」を掲載できます。
2. スマートフォンからの利用も可能です。
3. 従業員の自己紹介をリレー方式で展開する「社員名鑑」など、従業員がお互いをよく知り、「認め合い、褒め合う」企業文化の醸成を加速します。



異業種交流会／社内ゼミ 経営への提言

女性活躍をテーマに複数の企業が参加した異業種交流会、および田中貴金属グループの女性従業員による社内ゼミを開催しました。9か月間にわたる活動を、経営TOPへの提言としてまとめました。

各社事務局による、各社TOPへの共同提言

1. 人材育成の本気の取り組み強化
2. 意思決定層の多様化実現
3. 計画的な女性採用実施
4. 働き方の抜本的な改善



※来期の活動:
事務局間情報交換・社員交流・社外広報

社内ゼミ提言

1. DE&I宣言発表のお願い
2. 実働部隊の立ち上げ (DE&I推進室)
3. 田中貴金属工業一般事業主行動計画(第2期)の提案および実施推進チーム設置
4. アンコンシャスバイアス研修の実施
5. 両立支援強化および相談できる場の設置



TANAKA NOW

技術者としてキャリアを積む上でさまざまなライフイベントを迎える30代。そんな中、他社と交流し田中貴金属グループの女性活躍について考え活動する機会があると聞き、ゼミに参加しました。

活動は業務時間で行うため、反対されるかもと不安に思っていたのですが、工場長も上司も、参加に対し快く背中を押してくれました。

ゼミ活動中も上司から「それも立派な仕事」と言っていたことがとても心強く、提言まで結びつけることができました。

ゼミの活動を行う上で、我々のような工場勤務者のほうが「男はコレ、女はコレ」といった性別による業務の偏りなどの動きづらさを強く感じているのでは?と聞いていましたが、本社勤務の方からも、異業種交流会で他社の女性からも、また全社アンケート結果からも、多方面から動きづらさに関する話がたくさん挙がってきたことに衝撃を受けました。

男は仕事、女は家を守れば安泰という時代が終わり、現代は性別にとらわれず、キャリア志向の人もいれば、ワークライフバランスを重んじる人もいます。ワークとライフは0か1かの二項対立ではなく、それぞれの人が、それぞれのライフステージによって選択をする、まさに多様性の時代です。

ゼミでは、女性の働きづらさのひとつの原因として男女ともにある無意識の思い込み、アンコンシャスバイアスがあることを学びました。

脳は無意識に考え方の偏りをもってしまい、それが発言、行動として出ることによって組織の心理的安全性を低下させ、「こうあるべき」というバイアスが本人の生きづらさにつながり、組織のイノベーションを阻害してしまいます。

ゼミ終了後は、脳にはバイアスがあることを理解し、それでもなお考え続けること、対話をしていくことを心掛けるようになりました。バイアスの殻を破り、田中貴金属グループの技術者としてイノベーションを起こせるように、これからも頑張っていきます。

田中貴金属工業(株) 筑波事業所 製造技術セクション 松田 朋子



DE&I宣言とDE&I推進室設立

従業員一人ひとりの個性こそが価値を生み出す源泉と考え、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(多様性、公平性、包括性)の推進を重要な経営戦略のひとつとして位置づけ、全社で取り組んでいくことを表明するDE&I宣言を策定しました。よりよい未来づくりに向けたイノベーションの創出と従業員の幸せ実現のために、以下の3つの指針に基づき活動していきます。

- ・ダイバーシティ(多様性)
従業員一人ひとりが、互いの個性や違いを認め、尊重し合える組織を実現します。
- ・エクイティ(公平性)
従業員一人ひとりが、能力を伸ばし最大限に発揮するための機会を提供します。
- ・インクルージョン(包括性)
従業員一人ひとりが、互いに刺激し合い、共に成長できる環境を整備します。

これまで、仕事と家庭の両立を支援する制度の整備や、男性育児休業取得者による座談会、社内意識調査などを通して働きやすい環境づくりに取り組んできましたが、2023年4月に専門部署「DE&I推進室」を立ち上げました。

2023年度はヒアリングのためのキャラバンを実施しました。各拠点の生の声を拾い、田中貴金属グループらしいDE&I施策づくりに役立てます。さらにDE&I実現のために、組織風土改革研修も計画しています。

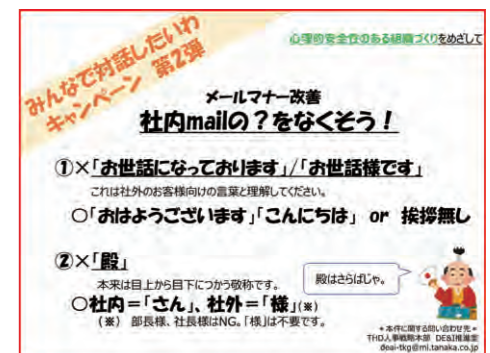
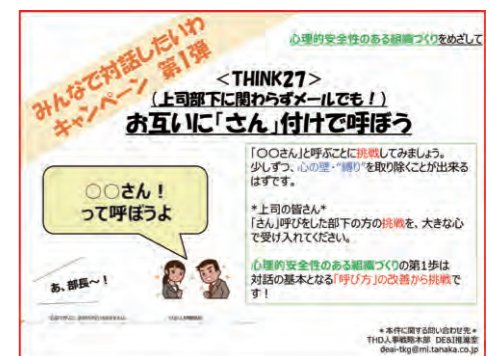


心理的安全性のある組織づくり

DE&I推進室では、組織風土改革の一環として心理的安全性のある組織づくりを進めています。従業員一人ひとりが他者を尊重し、安心して発言できる組織をつくるのが、イノベーションを創造し従業員の幸せにもつながると考えています。

まず「さん付けで呼ぼう+社内メールで間違った敬語に注意」というキャンペーンを始めました。肩書で呼び合うのではなくもっと気楽に声をかけ合い対話することで、お互いが刺激し合い成長できる環境づくり(インクルージョン)を促進したいと考えています。また、社内メールで不必要な表現や間違った敬語がないか見直すことで、過剰なフォーマリティー(形式的であること)を排除し、社内でのコミュニケーションをより円滑にします。

さらにフォーマリティーの排除として、本社ではビジネスカジュアルを導入しました。相手が不快に感じないことを大前提として、服装を従業員の自主性にまかせています。DE&I推進室は、ビジネスカジュアルの正しい理解と浸透の支援を行っています。



より安全な職場環境づくり

安全で、安心して働ける職場環境づくりは、企業にとって最も重要な、かつ奥深い課題です。田中貴金属グループは、お互いに協力できる関係づくりを大切にしながら、従業員の安全と健康の確保に取り組んでいます。

安全活動の振り返り

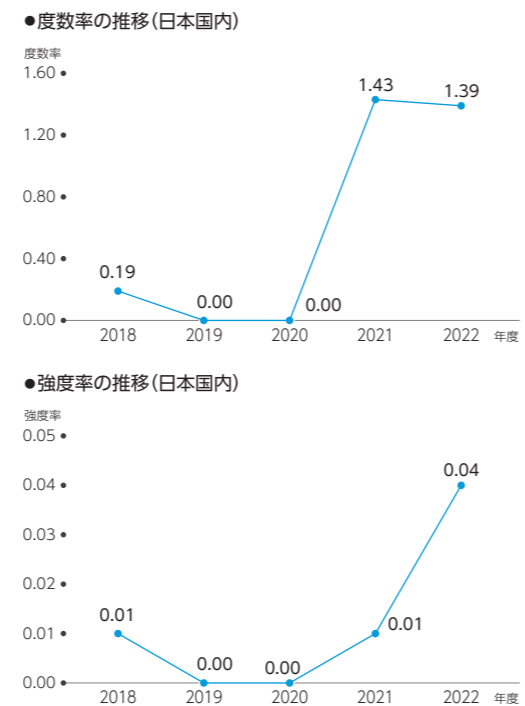
2022年度の中央方針として「安全を最優先し、安心で・明るい職場を確立する」を掲げ、さまざまな安全活動を進めてきました。2022年度の災害の発生件数は21件でした。このうち、休業日数4日以上は9件発生しました。100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数である「度数率」、1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数である「強度率」はいずれも例年に比べ高くなっています。

各工場・事業所の安全管理者が参加する安全専門部会において、発生した災害の原因分析、恒久対策を討議し、再発防止に努めています。また、2017年度より毎年行っている「安全対策重点実施活動」は、共通課題の「転倒防止」に加え、各工場・事業所の個別課題「挟まれ・巻き込まれ」「切れ・こすれ」などを設定の上、対策しています。

交通事故発生件数は2020年度が49件、2021年度が49件、2022年度が37件と減少傾向にあります。交通安全の施策として、ドライブレコーダーの搭載支援に続き、私用車通勤者に対して衝突低減ブレーキ、バックモニターの搭載支援も行いました。

災害防止対策だけでなく、従業員が安心して働ける環境整備にも取り組んでいます。同一部署に所属する従業員が、作業を行う他の従業員の存在を確認できない、または容易に連絡が取れない状況で行う作業を「孤立一人作業」と定義して、このような状態にならないために、転倒検知とともに位置情報を把握できる仕組みを導入して、日常の就業管理、人員配置を補い、従業員の人命救助を最優先に直ちに対応できる体制を構築しています。

災害、事故、交通事故の発生件数については、CSRパフォーマンスのページをご参照ください。



TOPICS

グループ会社のMetalor Technologies International SAのMarin工場では、安全作業のための改善活動を進めています。写真のようにリフティングテーブルやバキュームリフトを設置しました。作業場自体も拡張し、高さ調整付き多機能ワークステーションの導入など作業環境の整備を行っています。



安全対策重点実施活動の事例紹介

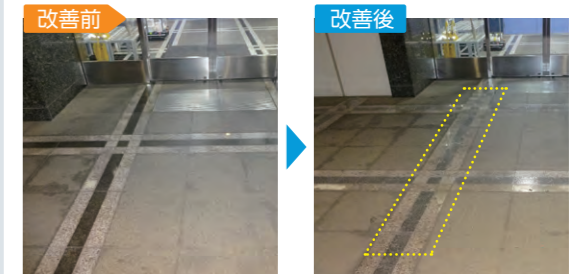
事例1 「転倒」

PGMカンパニー 筑波事業所



転落の危険があったため、昇降装置導入により荷物を持った状態での階段の昇り降りをなくした。

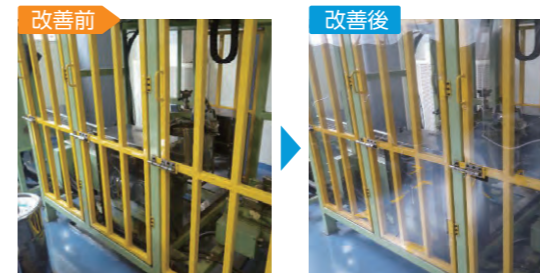
化学回収カンパニー 湘南工場



入口床の石タイル部が滑りやすかったため、滑り止めテープ(半透明)を貼り、滑り難くした。

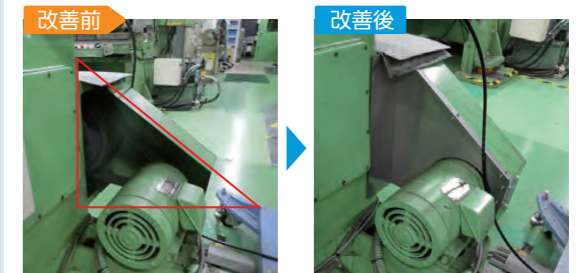
事例2 「挟まれ・巻き込まれ」

AuAgカンパニー 富岡工場



安全柵に手が入る隙間があったため、アクリル板で隙間を塞ぎ、巻き込まれないようにした。

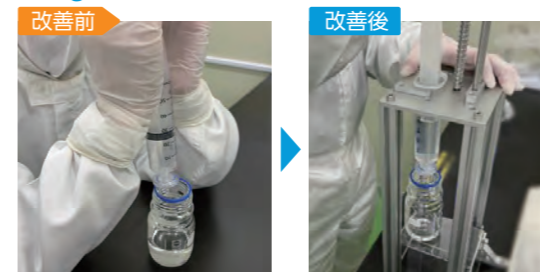
PGMカンパニー 伊勢原工場



駆動部分に手が入る隙間があったため、カバーを設置し、手が巻き込まれないようにした。

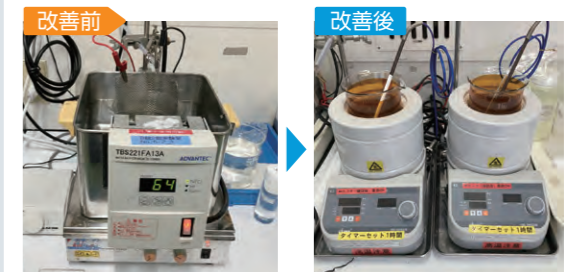
事例3 「薬傷・火傷」

AuAgカンパニー 平塚工場



シリンジを支える手が滑り、瓶が倒れて薬液が飛散する危険があったため専用治具を製作し、瓶の転倒や薬液の飛散が起こらないようにした。

APカンパニー EEJA(株)



湯に直接手が触れて火傷の危険があるホットバスをビーカーマントルに変更して、加温部に直接手が触れないようにした。

健康経営の実現に向けて

田中貴金属グループは、従業員とご家族の健康を第一に考え、疾病の予防と健康の保持・増進を進めています。

田中貴金属グループ健康宣言

取り組み方針

- ①当グループは、社員の健康を経営の重要な原動力と考え、安全と健康を最優先する組織文化の醸成を図っていきます。
- ②当グループは、社員がもっと面白く働くことができるよう、職場環境を整えていきます。
- ③当グループは、社員と家族の健康の保持・増進、ワーク・ライフ・バランスの実現、生産性の向上、様々な社員が活躍できる職場づくりなどを総合的に推進します。

健康診断

従業員の定期健康診断および二次検査の受診率は100%を継続しています。健康診断の項目に各種がん検診の項目を追加して実施しています。45歳を迎える従業員は夫婦で人間ドックの受診が可能です。

メンタルヘルス

メンタルヘルスの取り組みは次のように行っています。

- 事業所健康管理室に常駐看護職を配置して社内相談体制を整備
- 社外相談窓口として健康相談ダイヤルの設置
- ストレスチェックの実施
- ラインケア研修(役職者)、セルフケア研修(全従業員)の実施
- 復職制度
休職している従業員がスムーズに職場復帰ができるように社内ルール(復帰支援プログラム)を作成しています。
- 新入社員および通年採用者にメンタルヘルス教育を実施
社会人生活のスタートにあたりストレスの気づきとその対処方法を身に付けることを学びます。

TOPICS

健康優良企業(銀の認定)更新

2019年8月に「健康優良企業(銀の認定)」を取得しました。その後も、健康診断受診率100%の継続、健康チャレンジ等の健康増進の取り組みを続け、2022年度も認定を受けました。

健康経営優良法人2023認定取得

田中貴金属グループ5社※が「健康経営優良法人2023(大規模法人)」の認定を受けました。



※田中貴金属グループ5社:
TANAKAホールディングス(株)、田中貴金属工業(株)、
田中電子工業(株)、EEJA(株)、田中貴金属ジュエリー(株)

健康チャレンジ

従業員の食生活や運動習慣など日頃の生活習慣の改善を図り、病気予防と健康意識の向上を図ることを目的に実施しています。個人で取り組む項目を選択し、約2か月間、生活習慣改善にチャレンジしました。健康チャレンジは2016年から実施しており、2022年度の参加率は過去最高の75.1%となりました。

禁煙の取り組み

①禁煙キャンペーン

喫煙者のみならず受動喫煙による影響を考え禁煙を促進する機会として2022年6月に実施しました。自作ポスター、禁煙川柳、喫煙者へのメッセージを募集し社内に掲示しました。

②禁煙デーの設定

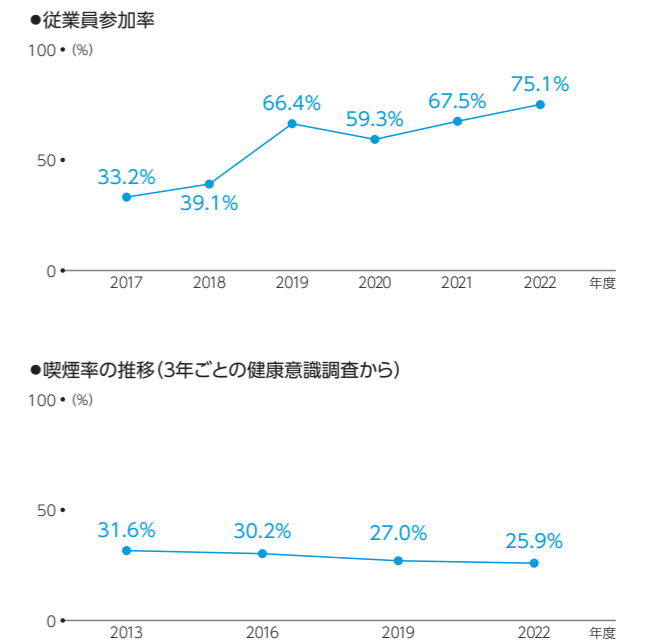
自身の健康や受動喫煙について考え、禁煙を始めるきっかけとしていただくために、毎月禁煙デーを設定しています。

③事業所屋内禁煙

屋内にある喫煙場所は撤去し、屋外喫煙場所では受動喫煙対策を行って決められた時間のみ利用可能としています。

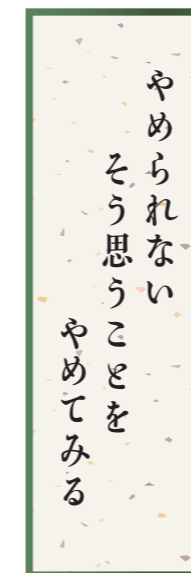
④禁煙外来治療費の補助金支給

専門医療機関で禁煙治療外来により禁煙した場合に補助金を支給します。

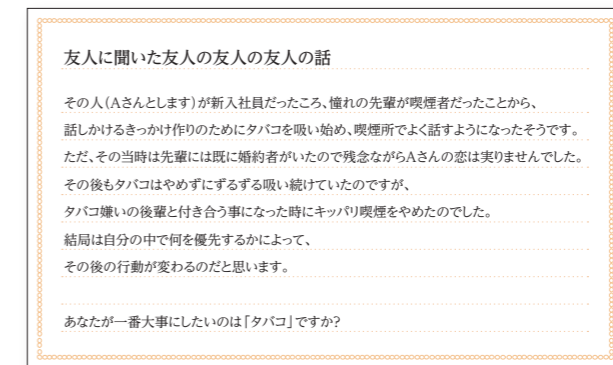


●2022年度禁煙キャンペーン【全社賞】

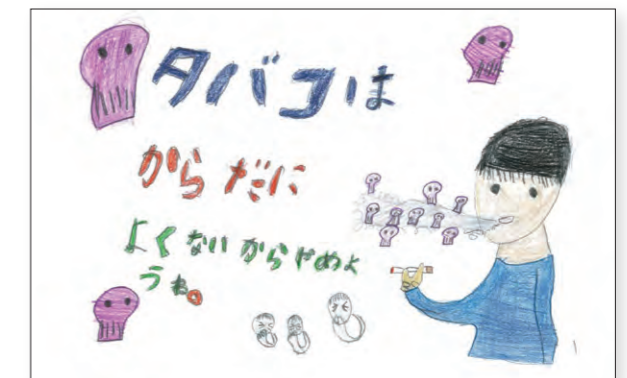
●川柳の部



●メッセージの部



●ポスターの部



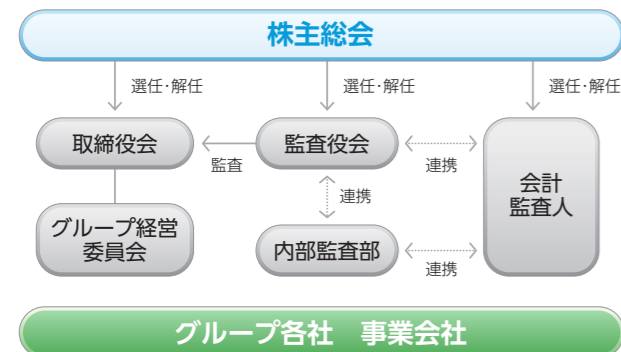
誠実で健全な企業であるために

法令を遵守するだけでなく、社会倫理に照らして正しい事業活動をグローバルに展開するための取り組みを、グループ全体で推進しています。

コーポレート・ガバナンス

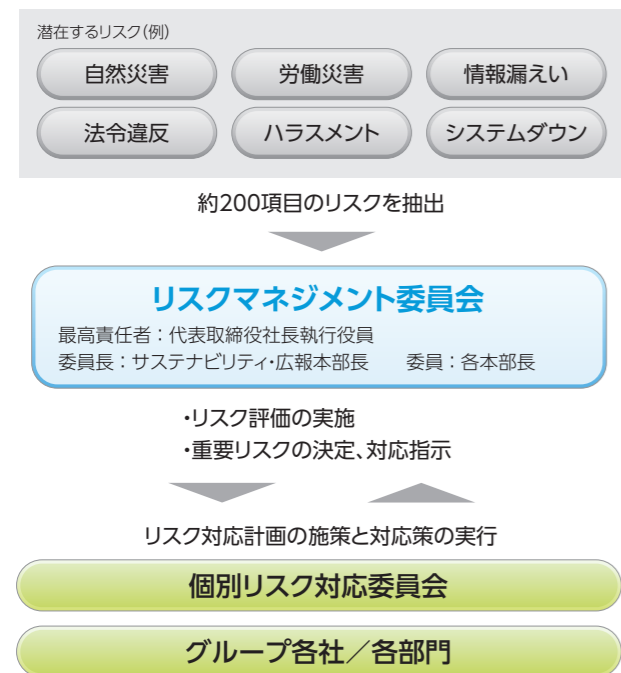
田中貴金属グループでは、すべてのステークホルダーの権利と利益を尊重し、適法かつ適正な業務執行および会計などを実現するためにコーポレート・ガバナンス体制を構築し、内部統制基本方針を定めています。この体制と基本方針に基づき取締役会・グループ経営委員会・監査役会・内部監査部がそれぞれの役割を果たしています。

●ガバナンス体制図



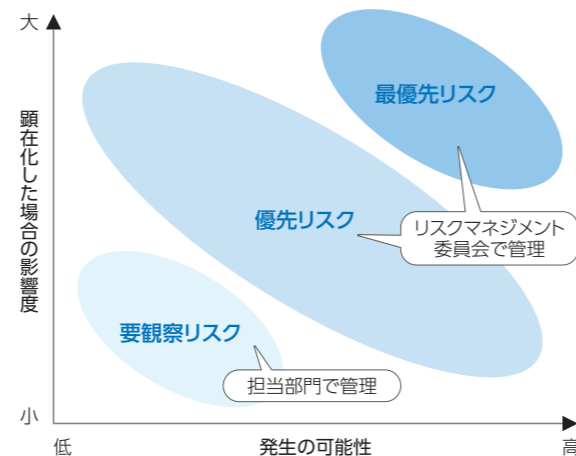
リスクマネジメント推進体制

●リスクマネジメント推進体制図



TANAKAホールディングス代表取締役社長執行役員を最高責任者、サステナビリティ・広報本部長を委員長とするリスクマネジメント委員会を設置しています。年2回開催される同委員会では、リスク評価、リスク対応状況の進捗確認、対応すべき重要リスクの決定と対応指示を行っています。同委員会で決定した重要リスクは、個別リスクを管理する各委員会または担当部署がリスク対応計画を策定し、計画に基づきリスク対応策を実行しています。

●リスク評価の概念図

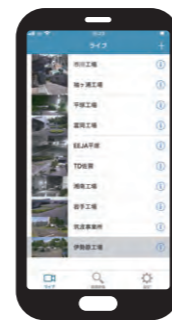


事業継続計画(BCP)

地震、風水害などさまざまな自然災害を想定して、各拠点で、定期的な訓練、事業継続計画の見直しを行っています。特に、国内各事業所10カ所に設置されているライブカメラは、地震や天候急変時などに遠隔地から状況を確認することができるため、情報共有や初動対応に活用しています。



スマートフォンの画面(イメージ)



コンプライアンス教育

コンプライアンス意識の向上と不正行為防止のためにコンプライアンスガイドブックを周知しています。また、社内通報制度、独占禁止法遵守、腐敗防止、個人情報保護および営業秘密などをテーマにeラーニングを継続的に実施しています。その他、海外赴任者や駐在員向けに教育を実施し、田中貴金属グループ全体のコンプライアンス意識向上に努めています。

人権の尊重

田中貴金属グループは、「田中貴金属グループ 行動憲章・行動規範」において、国籍、人種などによるあらゆる差別をなくし、児童労働や強制労働を一切行わないことを宣言しています。また差別やハラスメントなどの行為を防止するための社内教育を行い、相談や違反を通報できる制度を設け、通報者は不利益を受けよう厳格に保護されています。さらに、外国籍労働者に対しては、採用にあたり労働者から登録料や手数料を徴収しないこと、身分証明書、パスポートまたは労働許可証、ビザ等は本人が保管することなど、労働者の人権に配慮するための手順を定めています。

ハラスメント研修

田中貴金属グループでは2014年からハラスメント防止研修を実施しています。2022年には顧問弁護士による事例を交えた幹部向けのセミナーを実施するなど、ハラスメント防止・撲滅に取り組んでいます。

社内通報制度

2022年度の社内通報件数は8件でした。すべての案件について公益通報者保護法ならびに社内通報制度規程に則り、また通報者保護と守秘義務を遵守し、適切に対処しています。

安全保障貿易管理

国際的な平和および安全を基盤として世界中のお客様に製品やサービスをお届けするグローバル企業にとって、国際協調に基づく適正な輸出管理は欠かすことのできない責務となっています。

田中貴金属工業(株)は、外為法などの法令に則り、独自の「安全保障貿易管理規程」(CP)を定め、経済産業省に届け出しています。当社の製品や技術が国際テロ犯罪や核兵器・生物化学兵器などに転用されることを防ぐための慎重な輸出管理を行うとともに、域外適用により事実上全世界に規制が及ぶ米国輸出管理規則(EAR)などについても常にその動向を把握し適切な対応に努めています。

AEO認定輸出者としての取り組み

田中貴金属工業(株)は、税関当局から認められた特定輸出者(AEO認定輸出者)として、貨物、輸送、敷地などの安全性の確保、内部監査、委託先管理、税関・社内の連絡体制、教育体制などのコンプライアンス体制を整備するとともに、信頼性の高いセキュリティのもとで製品提供を行っています。



個人情報管理の推進

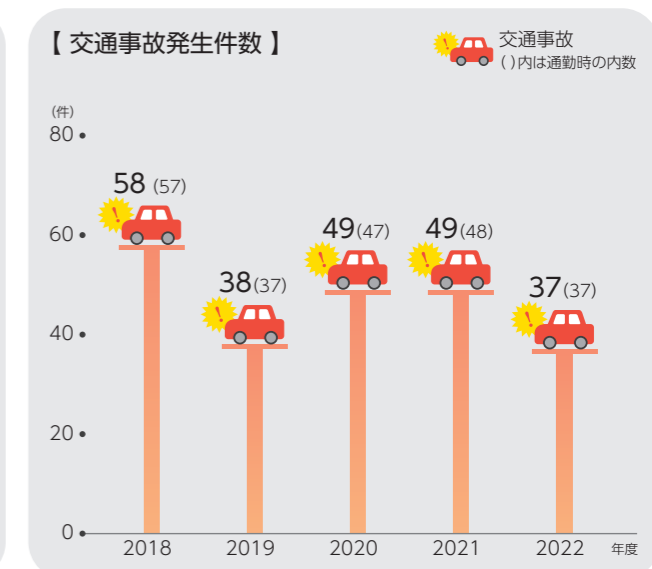
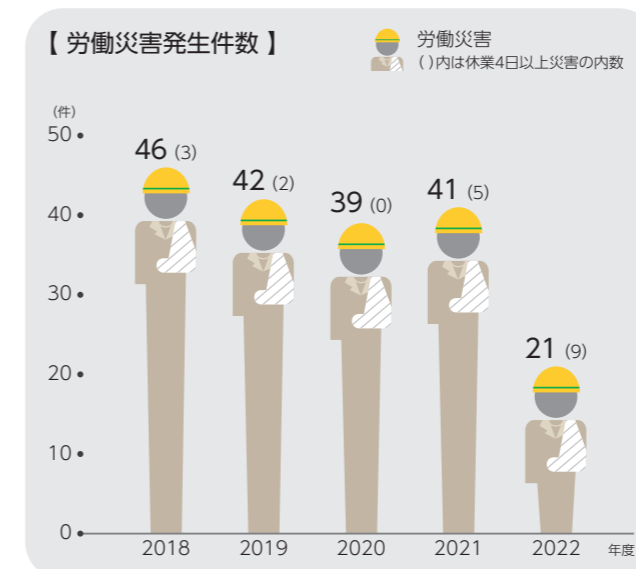
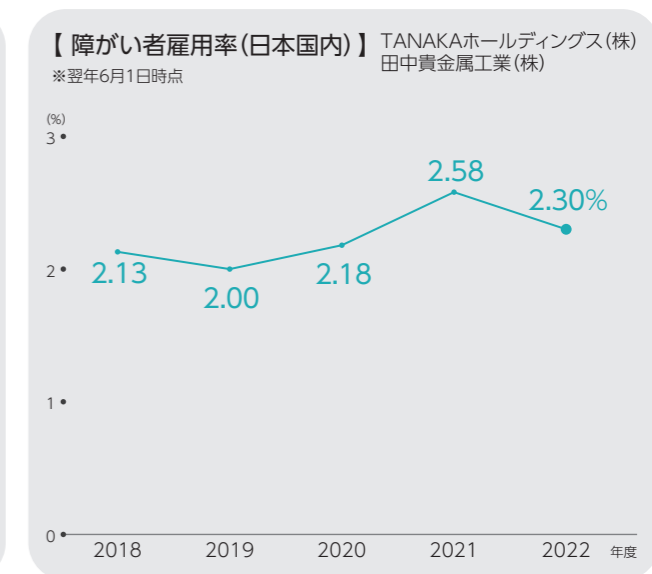
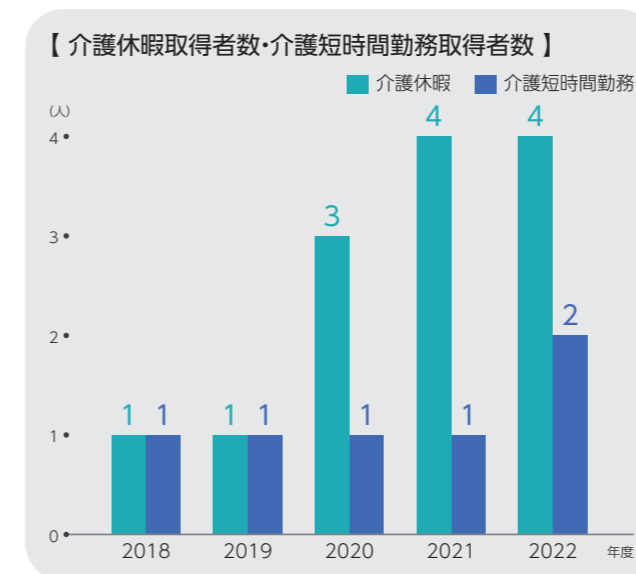
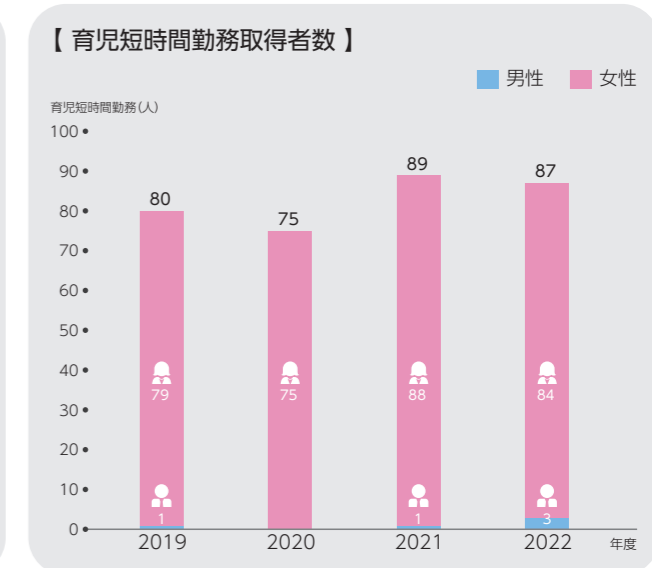
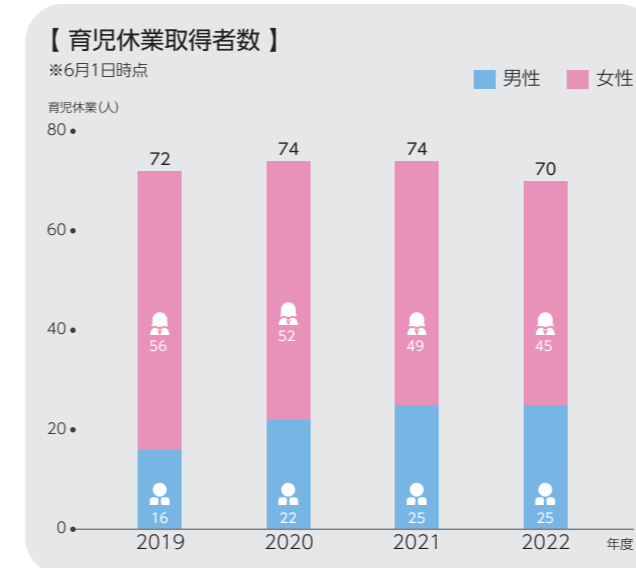
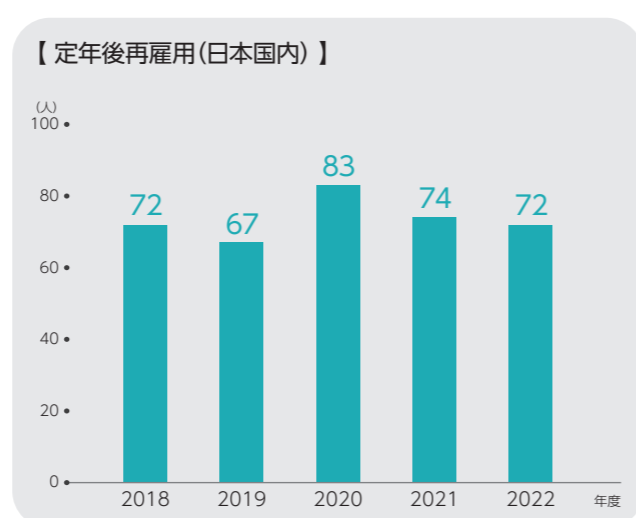
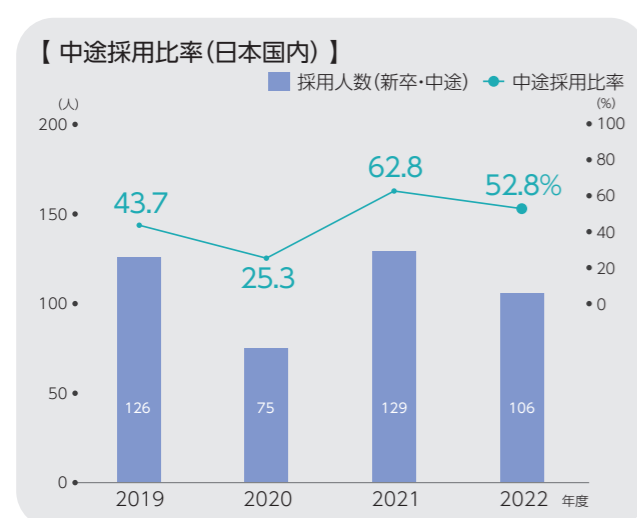
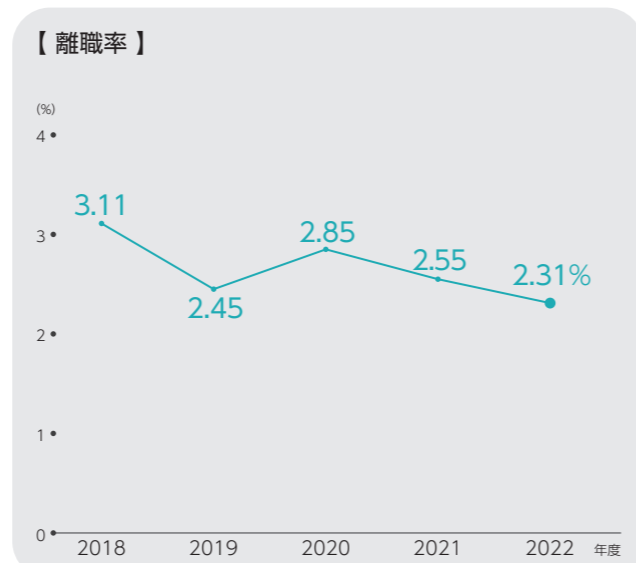
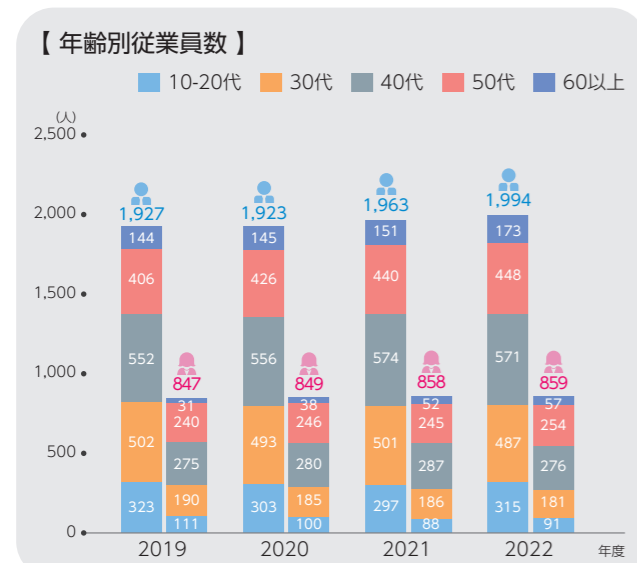
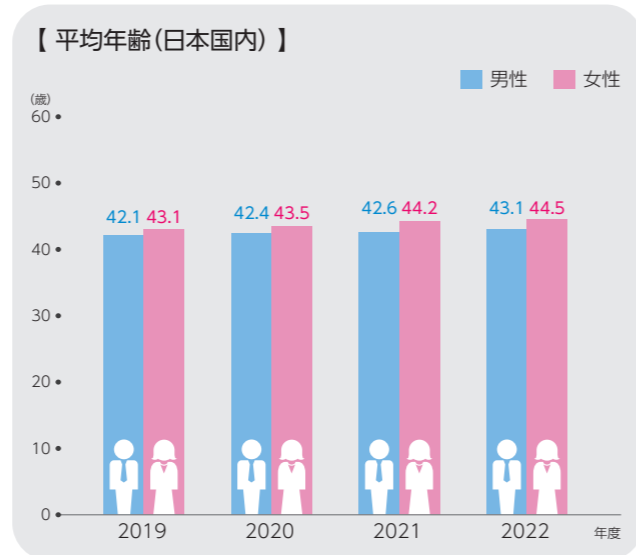
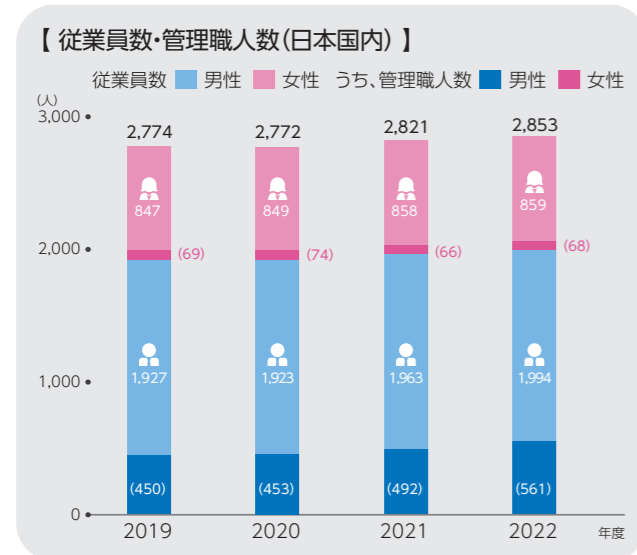
田中貴金属グループでは、個人情報管理規程に基づき、個人情報を「個人のお客様」「法人のお客様」「社員等」の3つのカテゴリに分類して管理を行っています。特に「個人のお客様の個人情報管理」に関しては、ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の規格を一部使用して管理しています。

また、半年に1回開催する個人情報管理委員会では、それぞれのカテゴリにおける管理状況の確認および継続的改善を進めています。

2022年度は、メールの誤送信など軽微な事案が3件発生しましたが、即時対策を実施しました。今後も個人情報漏えい事故の防止に努めます。

CSRパフォーマンス

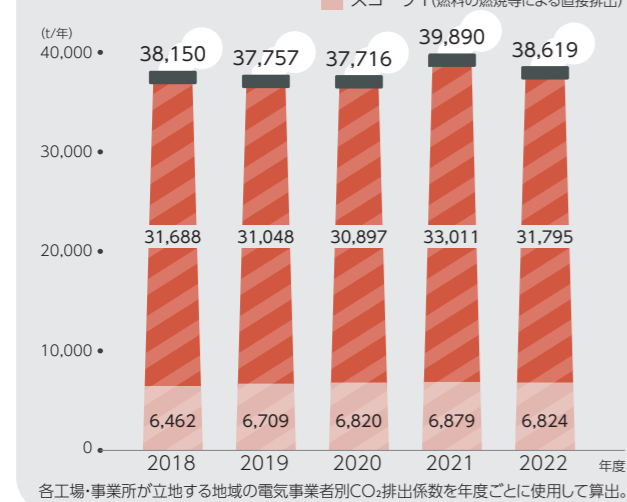
CSRに関するさまざまな指標を、改善・悪化にかかわらず開示します。
指標については世の中の動向やステークホルダーの要求に応じて適宜見直しを行います。



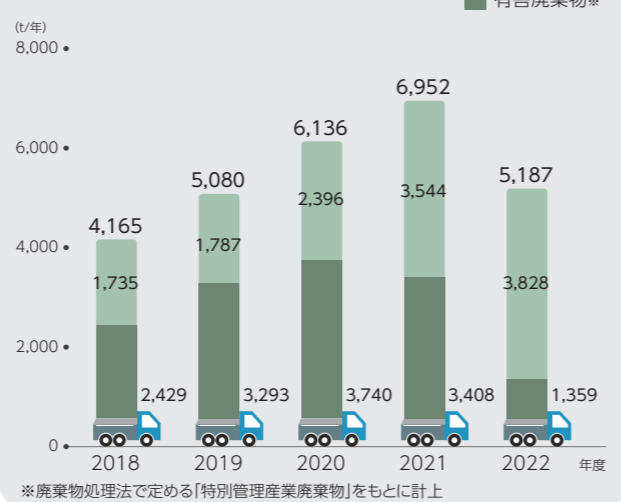
CSRパフォーマンス



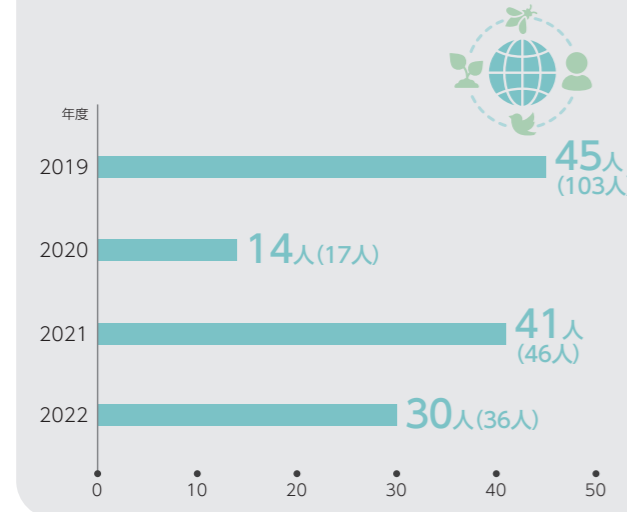
【CO₂排出量(日本国内)】



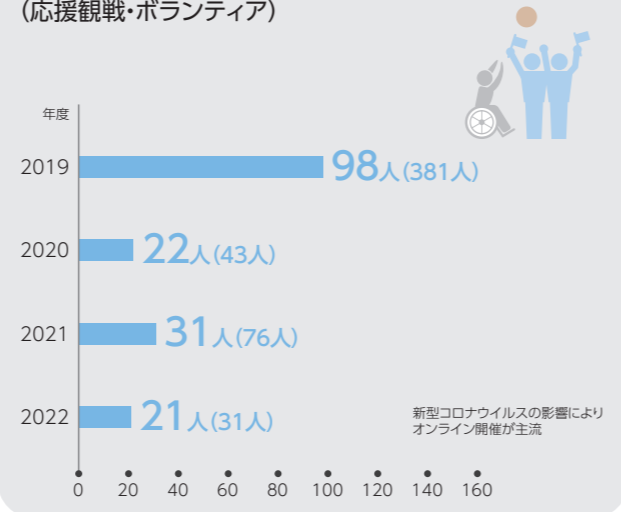
【産業廃棄物排出量(日本国内)】



【生物多様性保全活動参加者 ※実数】



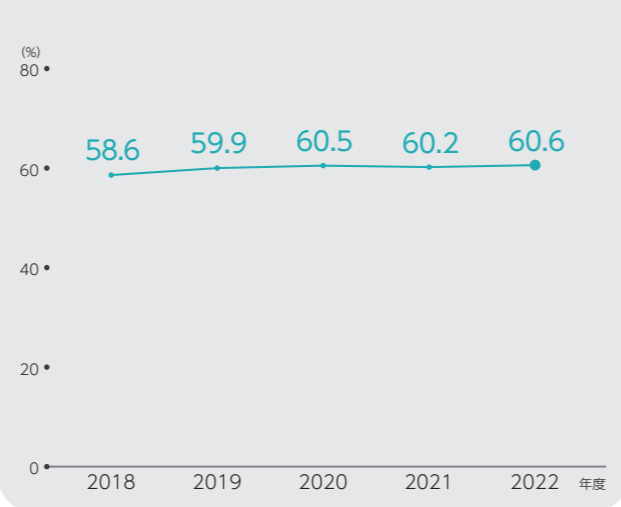
【障がい者スポーツ 参加人数 ※実数】



【新規特許登録件数(日本国内)】



【組合組織率(日本国内)】



CSRマネジメント

CSRの考え方

CSR<企業の社会的責任>を果たすための活動を、日常業務から遊離した別ものとしてではなく、あくまでも業務の一環としてとらえて、実行することをめざしています。また、社是に示されているすべてのステークホルダー<利害関係者>に対する基本的な姿勢は、創業当時より一貫してCSR活動の支えともなっています。例えば、「地金はお金」に象徴される創業以来絶えることなく日常的に継続してきた地金リサイクル(12ページ参照)はまさしく環境負荷低減活動となっています。社会貢献活動(16-17ページ参照)に代表されるコミュニティへの参画、環境における生物多様性への対応(15ページ参照)などさらに日常業務へ取り込むべく推進活動を継続しています。

- 社是** 創業以来130年を超えて、品質や生産性、技術力の向上にとどまらず、企業の社会的責任(CSR)を含めた企業活動のすべてにわたる基本的な姿勢を「社是」として掲げています。
- 企業理念と行動指針** 「社是」に示された基本姿勢のもと、貴金属業界の先頭に立ち、地球環境保全をはじめとするさまざまな事業継続活動を実行し、「ゆとりある豊かな社会」の実現に向かっていくことを「企業理念」に謳っています。また、「企業理念」を実現するにあたり、日常活動において心がけるべき5つの基本的な行動姿勢を「社是」とともに「行動指針」として掲げています。
- 行動憲章・行動規範** 日々の活動の中で、社会的責任を果たし持続可能な社会に貢献するための企業行動原則を「行動憲章」「行動規範」としました。ISO26000の7つの中核主題に則り、国内法令の遵守にとどまらず、国際的に認められた基準も含めて尊重することを前提として定めています。また、本規範を遵守するための適切なマネジメントシステムを構築しています。

田中貴金属グループ行動憲章	
組織統治	説明責任と透明性を伴った、健全な事業活動を推進します。
人権	国籍、人種、性別、年齢、社会的身分、職制・職責等に関するあらゆる差別をなくします。
労働慣行	自由闊達な企業風土の中で、安全を最優先し、最高の仕事に取り組みます。
環境	環境保全を推進し、美しい地球の未来に貢献します。
公正な事業慣行	違法精神に基づき、健全な事業活動を推進します。
消費者課題	お客様の信頼と期待に応え、心はずむ瞬間(とき)を提供します。
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	ゆとりある豊かな社会を目指し、地域社会の活性化に貢献します。
田中貴金属グループ行動規範	
人権	1)国籍、人種、民族、肌の色、性別、年齢、宗教、信条、社会的身分、家柄、財産、心身における障がいの有無、政治上の意見等による差別となる行為を一切行いません。 2)児童労働および強制労働を一切行いません。 3)若年労働者には適切な作業環境を提供します。 4)適切な労働時間の管理と賃金の支払いを行います。 5)いやがらせ、侮蔑、言葉による虐待、職務上の立場を利用した不当な強要(いわゆるパワーハラスメント)等の行為を一切行いません。 6)相手および周囲の意に反した性的言動等(いわゆるセクシャルハラスメント)の行為を一切行いません。 7)会社や個人に対する誹謗・中傷を行いません。
労働慣行	1)人命尊重を最優先し、労働安全衛生に関する法令を遵守します。 2)安全衛生に関する組織的・継続的な活動の重要性を理解し、積極的な参画を推進します。 3)自己の業務に関わる危険性、心身への有害性を理解し、緊急時への備えを行い、訓練を実施し、事故、災害の未然防止に努めます。 4)従業員の団体交渉および集会への参加の権利を尊重します。 5)従業員に、適切な福利厚生を提供します。
環境	1)環境法規制、地域協定および社内ルールを遵守します。 2)環境に有害な影響を及ぼす化学物質の管理の徹底と削減を推進します。 3)省エネルギー、省資源化を進め、CO ₂ 排出量および廃棄物の削減を推進します。 4)水資源の適切な管理を推進します。 5)「貴金属のリサイクル(再資源化)」に積極的に取り組みます。
公正な事業慣行	1)独占禁止法およびその他の公正競争を維持するための法令を遵守し、公正かつ自由な競争を行います。 2)金品の贈与、接待、寄付金、政治献金の類については、法令および社内ルールに従って適正に行います。 3)贈収賄、汚職、強奪、横領を一切行いません。 4)輸出入する貨物・技術については、国際条約、法令および社内ルールに従って適正かつ必要な手続きをとりまします。 5)優越的な立場を利用した、取引条件の一方的な変更や購入強制等となる行為を行いません。 6)知的財産権を尊重し、侵害しません。 7)反社会的勢力および武装勢力と関係する相手とは一切の取引引きを行いません。 8)他企業との相互協力・信頼関係の構築に貢献します。 9)営業秘密について社内ルールに従って管理・保護を行うとともに、営業秘密を他に漏らさず、開示せず、または無断で使用しません。 10)会社の利益に反する個人の行為・行動等、企業倫理上問題のある行為を行いません。 11)会社の資産(情報、製品、商品、備品、機器、消耗品、知的財産、ブランド等の有形・無形の資産等)を適正に管理し、不正・不当に使用しません。 12)取引関係で入手した未公表の情報に基づくインサイダー取引を行いません。 13)コンプライアンス違反防止のため、社内通報制度を設けるとともに、通報者に不利益が無いよう保護します。
消費者課題	1)製品・商品・サービスに適用されるすべての法令を遵守します。 2)競争法や表示に関する法令等に違反しません。 3)お客様、お取引先、従業員等から入手した個人情報を保護します。 4)広告等においては、実質的、客観的な根拠に基づく表示を行い、虚偽・誇大な広告を行いません。 5)製品の安全性、製品の品質を確保します。 6)製品・商品・サービスの機能、特徴等に関する情報および、正しい使い方、使用・利用上の注意等に関する情報を提供します。 7)企業情報を開示して、経営の透明性を高めるとともに、企業の説明責任を果たします。 8)誠実な営業活動・サービス活動を行います。 9)過大票品付販売や欺瞞的な販売方法を用いません。 10)会社の信用に関わる品質問題が発生した場合には、適正な対応を行います。 11)お客様からの問合せ、苦情に対しては、社内ルールやガイドラインに従って対応し、適切なフィードバックを行い、問題の再発を防止します。 12)利用資源の最少化、再生材料の活用、省エネルギーを図る製品・商品・サービスの開発に積極的に取り組みます。
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	学術研究、教育、環境保全、文化芸術活動、地域社会奉仕等の社会貢献活動を行い、地域社会との調和・共存を図ります。

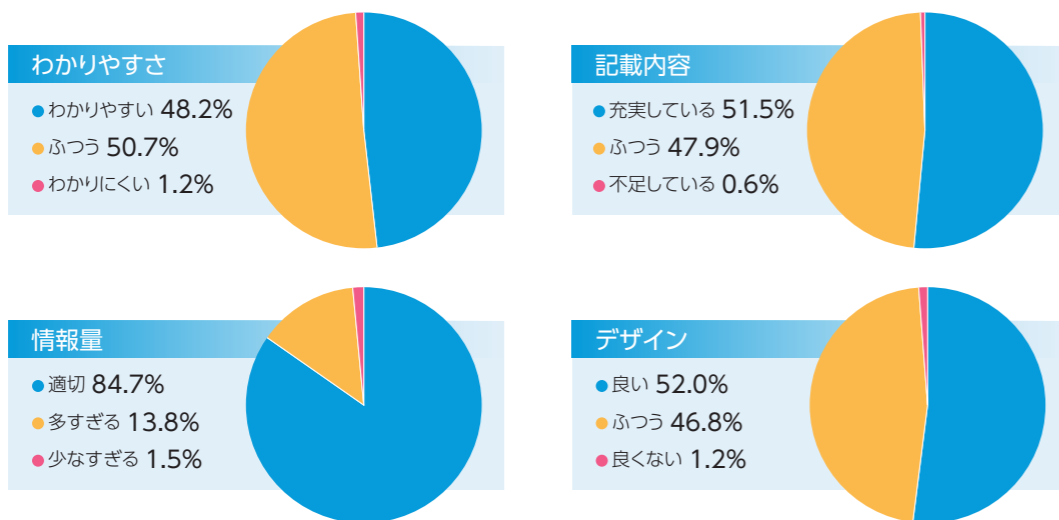
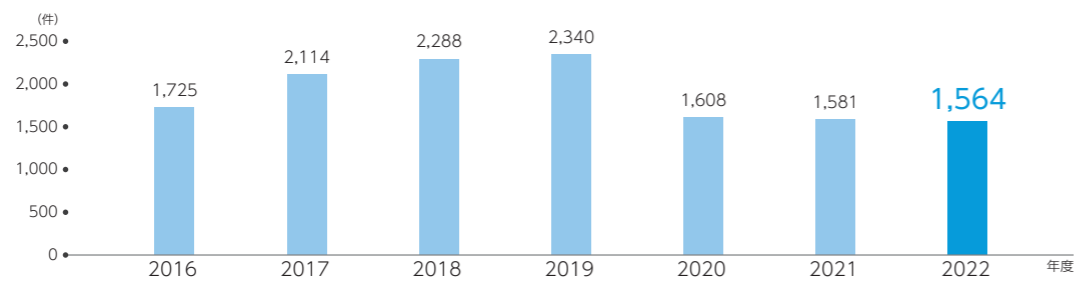
制定日:2008年11月1日 改訂日:2016年10月1日

CSR報告書アンケート結果

田中貴金属グループでは毎年従業員にCSR報告書アンケートを実施しています。2020年度よりウェブサイト上でのアンケートを導入しました。今年度は、回答の24%がウェブサイトからの回答となりました。

※一部、社外のお客様からのアンケート回答も含まれます。

「CSR報告書2022」アンケート結果



昨年度アンケートからのご意見・ご要望

アンケート回答者から毎年さまざまなご意見・ご要望をいただいています。今後も皆様からのご意見・ご要望を参考に改善してまいります。

ご意見・ご要望	改善点
内容が変わり映えない。	新しいトピックを増やし、定期的な内容はウェブサイトのみの掲載としました。
環境活動について、興味がある・具体的に知りたい。	グラフや数値での表現を増やしました。
女性の活躍について、もっと知りたい。	掲載内容を増やしました。
日本国内の事例が多い。	メタロー事例を追加しました。
CSRパフォーマンス掲載の意味がわからない。	ページ内に情報開示である旨を記載しました。

第三者保証

田中貴金属グループでは、CSR報告書に掲載するCSRパフォーマンスデータの信頼性向上を目的として、株式会社サステナビリティ会計事務所にて第三者保証を依頼しています。詳細は以下の通りです。

1. 目的

「CSR報告書2023」28-30ページ掲載の2022年度CSRパフォーマンスの各指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続きを実施する。

2. 保証手続き

国際保証業務基準ISAE3000に準拠して実施。概要は以下。

- ・算定方針について担当者への質問
- ・算定方針の検討
- ・算定方針に従って各種指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合ならびに再計算の実施

3. 結論

保証手続きの結果、各種指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

